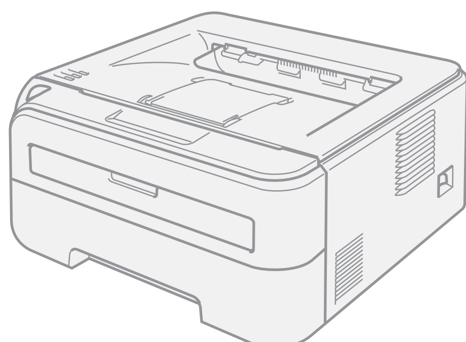
brother

本マニュアルをよくお読みになって、製品をご利用ください。

# レーザープリンタ
# HL-2170W

## 画面で見るマニュアル(ネットワーク設定ガイド)





## 困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 「第７章　こんなときは」で調べる

2 サポート　ブラザー　検索　ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

3 お客様相談窓口で相談 [ブラザーコールセンター] 0120-590-382
受付 /9:00～20:00（土曜・祝日～17:00）
※日曜・当社指定休日は除きます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

Version 0
JPN

# 目次

# 本書のレイアウトについて

大見出しです。

## ネットワークプリンタとして使う（Windows®）

中見出しです。

### LPR で印刷する

小見出しです。

#### プリンタドライバをまだインストールしていない場合

「プリンタの追加ウィザード」で本製品へのポートの追加とプリンタドライバのインストールを行います。
すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがすでにインストールされている場合」P.4-9 を参照してください。

メモです。

メモ
- この章の内容を操作する前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。詳細については、「第 2 章 ネットワークの設定」を参照してください。
- ブラザープリントサーバのお買い上げ時のユーザ名は"admin"で、パスワードは"access"に設定されています。
-

Windows Vista® の場合

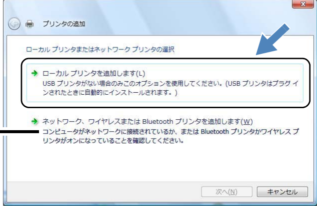
操作手順です。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタのインストール］をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

3 ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。



注意項目です。

Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール（Windows® ファイアウォール）」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。（Windows® XP Service Pack 2 をお使いのお客様は、BRAdmin Light のインストール時に、Windows® ファイアウォールの例外として BRAdmin Light を追加すれば、Windows® ファイアウォール機能を無効にする必要はありません。）
詳しい設定方法については「Windows® XP Service Pack2 の場合」P.7-10 を参照してください。

参照ページです。クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

4-2　ネットワークプリンタとして使う（Windows®）

インデックスです。

ページ番号です。　大見出しです。

はじめに / ネットワーク設定 / 無線LAN / ネットワーク印刷 / インターネット印刷 / セキュリティ / こんなときは / 付録

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

# 本書で使われているマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

## マークについて

| | |
|---|---|
| | 本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。 |
| メモ | 本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。 |

## 商標について

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。
本文中では、オペレーティングシステム名称を略記しています。
Microsoft 、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh 、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Intel Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Ethernet は、Xerox Corporation の商標です。
UNIX は UNIX Systems Laboratories の商標です。
Mozilla、Firefox、Firefox ロゴは、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Wi-Fi、WPA は、Wi-F Aliance の登録商標です。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。
BROADCOM, SecureEasySetup および SecureEasySetup のロゴは、Broadcom Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Cisco は、Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

## 表記について

- 本書では、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional x64 Edition を総称して、Windows® XP と表記します。
- 本書では、Windows Server® 2003、Windows Server® 2003 x64 Edition を総称して、Windows Server® 2003 と表記します。
- 本書では、Windows Vista® の全てのエディションを総称して、Windows Vista® と表記します。

## 無線 LAN ご使用時のご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記「お客様相談窓口」へお問い合わせください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

### お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-590-382

お掛け間違いのないようにご注意ください。

受付時間月曜日～金曜日 9:00 ～ 20:00
土曜日・祝日 9:00 ～ 17:00
※日曜日およびブラザーコールセンターの休日はお休みとさせて頂きます。
　詳細は下記のサポートページをご確認ください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）：http://solutions.brother.co.jp/

## 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
- その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

**通信内容を盗み見られる**

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

**不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

## 電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」: 変調方式が DS-SS 方式であることを表す。(IEEE802.11b のとき)
「OF」: 変調方式が OFDM 方式を表す。(IEEE802.11g のとき)
「4」: 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「**---**」: 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

# 第 1 章
# はじめに

# ネットワークの概要

## 概要

本製品は、ネットワーク対応プリントサーバを内蔵しており、10/100BASE-TX 有線ネットワーク、IEEE802.11b/g 無線ネットワーク上で共有することができます。プリントサーバは、TCP/IP プロトコルをサポートする Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® と、TCP/IP をサポートする Macintosh® のための印刷サービスを提供します。次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

| オペレーティングシステム（OS） | Windows® 2000<br>Windows® XP<br>Windows Vista®<br>Windows Server® 2003 | Mac OS® X 10.2.4 以降 | Mac OS® X 10.3 以降 |
|---|---|---|---|
| 10/100BASE-TX 有線 LAN（TCP/IP） | ○ | ○ | ○ |
| IEEE802.11b/g 無線 LAN（TCP/IP） | ○ | ○ | ○ |
| 印刷 | ○ | ○ | ○ |
| BRAdmin Light | ○ | ○ | ○ |
| BRAdmin Professional | ○ | | |
| インターネット印刷 | ○ | | |
| ステータスモニタ | ○ | | ○ |
| オートマチックドライバインストーラ | ○ | | |

※ BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）よりダウンロードしてください。

## 特長と機能

### ネットワーク印刷

本製品は、TCP/IP プロトコルをサポートしている Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® また TCP/IP をサポートしている Macintosh®（Mac OS® X 10.2.4 以降）の印刷サービスを提供しています。

### 管理ユーティリティ

#### ● BRAdmin Light

BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows Server® 2003、Mac OS® X 10.2.4 以降のパソコンで利用できます。

Windows® をご使用の場合は、本製品に付属の「かんたん設置ガイド」を参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。

Macintosh® をご使用の場合は、プリンタドライバをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

## BRAdmin Professional（Windows® のみ）

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。

BRAdmin Professional は、BRAdmin Light の機能が拡張されています。詳しい情報とダウンロードについては、次の URL を参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）

## ウェブブラウザ

ウェブブラウザとは、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。このユーティリティは、ネットワーク上のブラザー製品のステータス情報を取得し、パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して本製品およびネットワーク設定を変更することができます。

詳細は、「ウェブブラウザで管理する」P.2-11 を参照してください。

# ネットワーク導入作業の流れ

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
以降では、手動でインストールする場合の手順を示します。

**ネットワークの接続方法を決める**

↓

お使いの環境に合わせて本製品をどのように接続するかを決めます。P.1-5

**IP アドレスを決める**

↓

本製品に割り当てる IP アドレスを決めます。P.1-8

**ネットワーク接続に必要な環境を整える**

↓

本製品をネットワーク上で使用するために必要なものを準備します。P.1-11

**ネットワークの設定を行う**

↓

BRAdmin Light などを使用して、本製品をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。P.2-6

**パソコンにプリンタドライバをインストールし、ポートを追加する**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# ネットワークの接続方法を決める

## 有線 LAN の場合

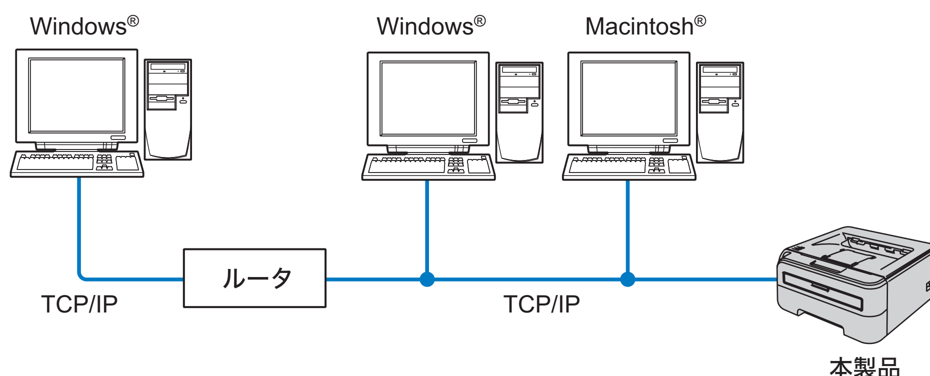
本製品を各パソコンからネットワーク上で共有する場合、各パソコンから直接プリンタと通信する「ピアツーピア接続」と、共有パソコンを経由して通信する「ネットワーク共有」があります。



本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステム（OS）の共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

### ピアツーピア接続

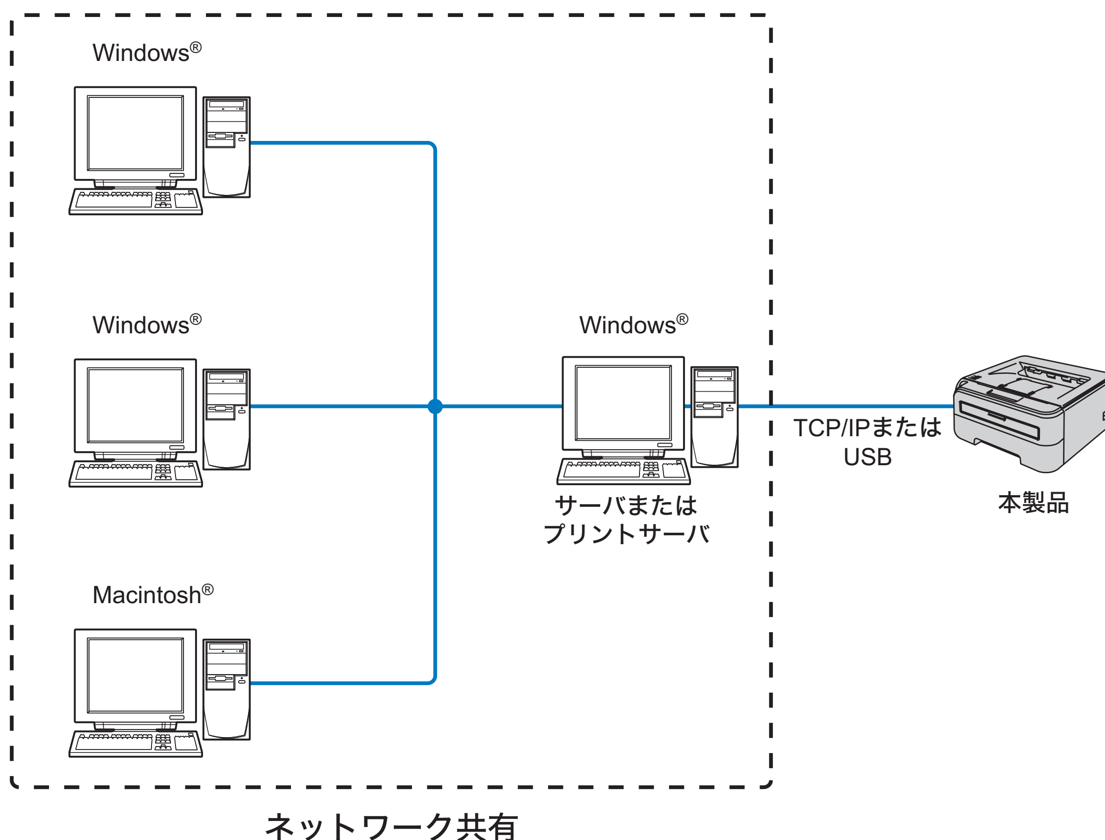
ピアツーピア接続では、各パソコンが本製品（ネットワークプリンタ）と直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバやプリントサーバなどは必要ありません。
各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。




- パソコン 2, 3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をおすすめします。ネットワーク共有印刷については、P.1-6 を参照してください。
- どのパソコンも、TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- ネットワークプリンタに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ルータを使用している場合は、パソコンと本製品にゲートウェイアドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンタは、Macintosh® と通信することもできます。（TCP/IP 互換動作環境）

## ネットワーク共有

ネットワーク共有では、各パソコンが本製品（ネットワークプリンタ）とデータを送受信するには、サーバまたはプリントサーバを経由する必要があります。このサーバまたはプリントサーバですべての印刷作業を制御します。
ネットワークプリンタに直接接続されているパソコンにのみプリンタポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンもネットワークプリンタを共有します。ただし、ネットワークプリンタに接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンはネットワークプリンタを使用できません。




ネットワーク共有

- 大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をおすすめします。
- サーバまたはプリントサーバは、TCP/IP 印刷プロトコルを使用してください。
- サーバまたはプリントサーバには、本製品に適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンタとサーバを USB インターフェースを経由して接続することもできます。



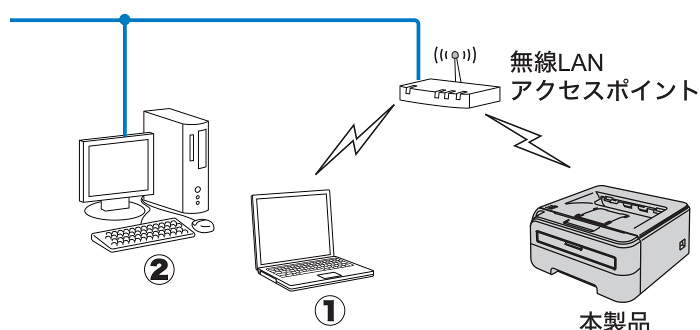

ネットワーク共有の方法についてはWindows®の共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

## 無線 LAN の場合

無線 LAN には、インフラストラクチャモードとアドホックモードの 2 つのタイプがあります。

### インフラストラクチャモード

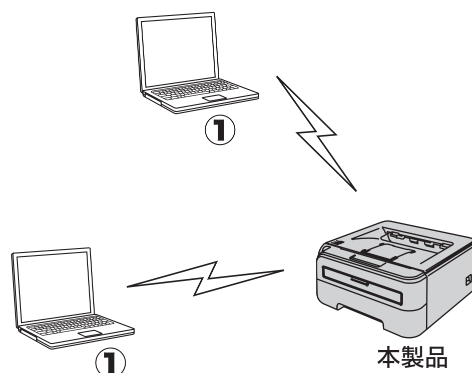
インフラストラクチャモードのネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。
無線 LAN アクセスポイントは、有線 LAN へ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。
本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。




①無線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン
②有線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン

### アドホックモード

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線 LAN 機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するパソコンからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。




①無線 LAN 対応パソコン

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# IP アドレスを決める

## TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。




**ゲートウェイの設定**

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

### IP アドレス配布サーバを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられるとともに、RFC 1001 および 1002 対応ダイナミックネームサービスによって、名称が登録されます。

### IP アドレス配布サーバを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本製品の操作パネルを使用して本製品の IP アドレスを設定してください。




**お買い上げ時の IP アドレス**

IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。

・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）

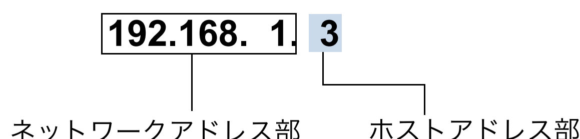
現在の設定値を調べるときは、「プリンタ設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

# IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 ( ノード ) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは､0 ～255 までの数字を｢. (ピリオド)｣で区切って｢192.168.1.3｣のように表現します。ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

**192.168.　1.3　　　IP アドレス**
**255.255.255.0　　　サブネットマスク**

と設定されている場合、




という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」 は、

**192.168.1.1~254**

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



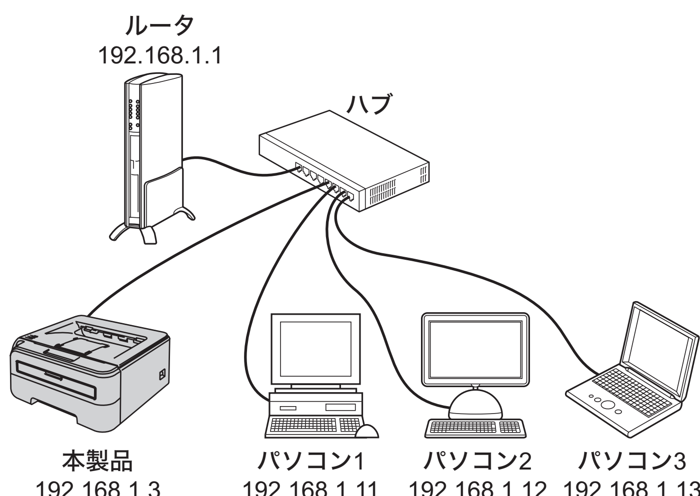

**予約されているアドレス**
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

# IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。
ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

| 機器名（ノード） | IP アドレス | サブネットマスク |
|---|---|---|
| ルータ | 192.168.1．1 | 255.255.255.0 |
| 本製品 | 192.168.1．3 | 255.255.255.0 |
| パソコン 1 | 192.168.1.11 | 255.255.255.0 |
| パソコン 2 | 192.168.1.12 | 255.255.255.0 |
| パソコン 3 | 192.168.1.13 | 255.255.255.0 |







**ネットワーク管理者がいるときは**

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。




**ネットワーク内にルータがあるときは**

ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

# ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

## 準備するもの

### ●ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本製品とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。



**無線 LAN をご使用の場合でも、本製品を無線 LAN に接続する際に、設定方法によっては一時的にネットワークケーブル（LAN ケーブル）が必要です。**

### ●ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

### ●ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。



**無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルータ）または無線 LAN 対応のパソコンが必要です。**

# 第 2 章
# ネットワークの設定

# ネットワークプリンタの設定をする

## 概要

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IP の設定をする必要があります。
この章では、TCP/IP プロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

本製品をネットワークに接続するには、付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用されることをおすすめします。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを進めると、簡単に本製品をネットワークに接続することができます。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

### ●操作パネルを使用する

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定のリセット、プリンタ設定一覧の印刷、無線 LAN を有効または無効にすることができます。詳細は、「操作パネルを使用する」P.2-3 を参照してください。

### ● BRAdmin Light を使用する

BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。詳細は、「BRAdmin Light で設定する」P.2-6 を参照してください。

### ● BRAdmin Professional を使用する（Windows® のみ）

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。詳細は、「BRAdmin Professional で管理する」P.8-5 を参照してください。

### ●ウェブブラウザを使用する

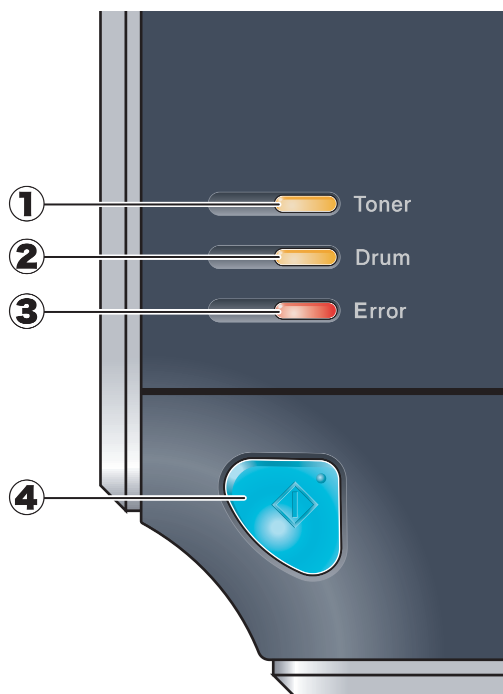
ウェブブラウザとは、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。このユーティリティは、ネットワーク上のブラザー製品のステータス情報を取得し、パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して本製品およびネットワーク設定を変更することができます。
詳細は、「ウェブブラウザで管理する」P.2-11 を参照してください。

### ●その他の設定方法を使用する

他の方法を用いて、本製品を設定することができます。詳細は、「ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する」P.8-2 を参照してください

# 操作パネルを使用する

## ●ボタンとランプ




① **Toner ランプ（黄色）**
② **Drum ランプ（黄色）**
③ **Error ランプ（赤色）**
④ **Ready ランプ（青色）**
**Go ボタン**


はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録


## ●操作パネルからできる項目

本製品の操作パネルを使って、以下の操作ができます。

| 操作内容 | 参照ページ |
|---|---|
| ネットワーク設定リセット | P.2-4 |
| プリンタ設定一覧の印刷 | P.2-5 |
| 無線 LAN を有効または無効にする | P.7-12 |

# ネットワーク設定をリセットする

パスワードや IP アドレス情報など、すでに設定しているネットワークのすべての情報をリセットします。

**1 プリンタの電源スイッチを OFF にします。**

**2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**3 (Goボタン)を押したままの状態でプリンタの電源スイッチをONにし、Tonerランプ、Drum ランプ、Error ランプが点灯したら、(Go ボタン)から指を離します。**

Toner ランプ、Drum ランプ、Error ランプが消灯します。

**4 (Go ボタン)を連続で 7 回押します。**

ネットワーク設定がリセットされると、すべてのランプが点灯します。




**ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする他の方法**

- BRAdmin Light または BRAdmin Professional（Windows® のみ）を使用できます。P.8-5
- ウェブブラウザを使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.2-11 を参照してください。

# プリンタ設定一覧を印刷する

本製品の設定値を一覧で表示した「プリンタ設定一覧」を印刷します。



**ノード名**
プリンタ設定一覧にはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

**1 プリンタの電源スイッチを OFF にします。**

**2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**3 プリンタの電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**4 （Go ボタン）を 2 秒以内に 3 回押します。**

プリンタ設定一覧が印刷されます。



**プリンタ設定一覧を印刷する他の方法**

- BRAdmin Professional（Windows® のみ）を使用できます。P.8-5
- ウェブブラウザを使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.2-11 を参照してください。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# BRAdmin Light で設定する

## IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

BRAdmin Light は、BRAdmin Professional（Windows® のみ）のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。
Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®、および Mac OS® X 10.2.4 以降で使用できます。
Windows® をご使用の場合は、BRAdmin Light のインストールについては、本製品に付属の「かんたん設置ガイド」を参照してください。
Macintosh® をご使用の場合は、プリンタドライバをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）でもご参照いただけます。

### ネットワークプリンタを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。




**ゲートウェイの設定**
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。




**お買い上げ時の IP アドレス**
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「プリンタ設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。



- Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール（Windows® ファイアウォール）」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。（Windows® XP Service Pack 2 をお使いのお客様は、BRAdmin Light のインストール時に、Windows® ファイアウォールの例外として BRAdmin Light を追加すれば、Windows® ファイアウォール機能を無効にする必要はありません。）
  詳しい設定方法については「Windows® XP Service Pack2 の場合」P.7-10 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

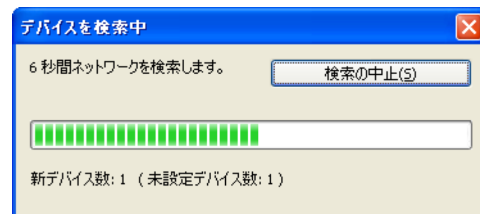


**ノード名**
お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

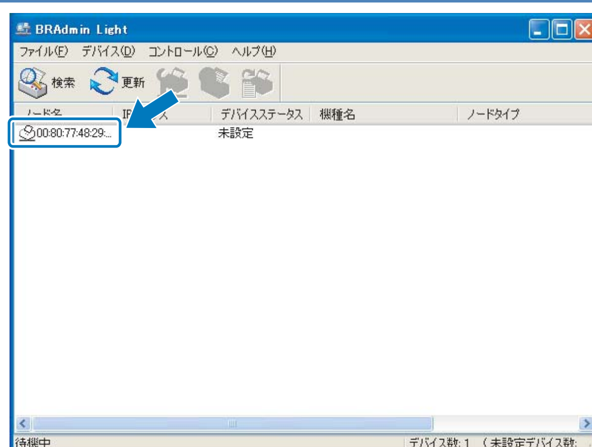
## Windows® の場合

**1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックして、BRAdmin Light を起動します。**

自動的に新しいデバイスの検索が開始されます。




**2 新しいデバイスをダブルクリックします。**






- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- プリントサーバのお買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。
- 新しいデバイスが表示されない場合は、［更新］をクリックしてください。

**3** **「IP 取得方法」から［STATIC］を選びます。［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックします。**



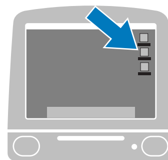

**4** **アドレス情報が本製品に保存されました。**

## Macintosh® の場合



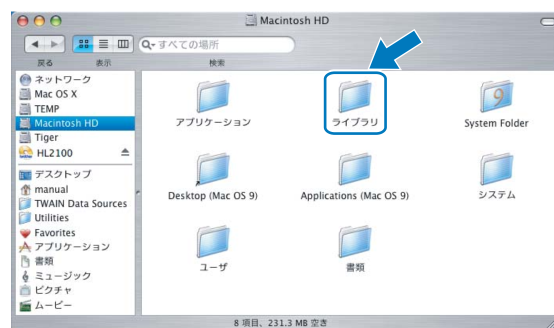

バージョン 1.4.1_07 以降の Java がインストールされている必要があります。

**1** **デスクトップの［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

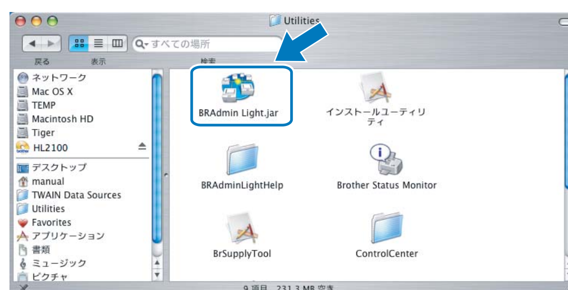




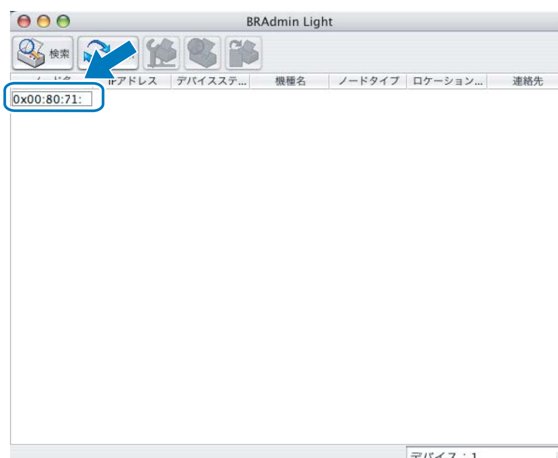

**2** **［ライブラリ］、［Printers］、［Brother］、［Utilities］の順に選択します。**




**3** **［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックして、BRAdmin Light を起動します。**



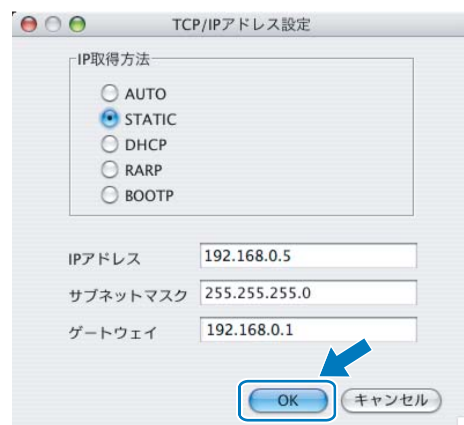
4 新しいデバイスをダブルクリックします。






- ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- プリントサーバのお買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。
- 新しいデバイスが表示されない場合は、［更新］をクリックしてください。

5 「IP 取得方法」から［STATIC］を選びます。［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックします。




6 アドレス情報が本製品に保存されました。

## プリントサーバの設定を変更する



無線 LAN をお使いの場合は、無線 LAN の設定を完了してからプリンタの設定を変更する必要があります。「第 3 章 無線 LAN の設定」P.3-1 を参照してください。

### 1 BRAdmin Light を起動します。

- Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。
- Mac OS® X 10.2.4 以降の場合
  デスクトップ上の［Macintosh HD］（起動ディスク）から［ライブラリ（Library）］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の順に開き、［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

### 2 設定を変更するプリントサーバを選択します。

### 3 ［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

### 4 パスワードを入力します。

お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

### 5 必要に応じて、プリントサーバの設定を変更します。



Windows® をご使用の場合は、BRAdmin Professional を利用して、さらに詳細な設定ができます。P.8-5 BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

# ウェブブラウザで管理する

## 概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、本製品を管理することができます。
ウェブブラウザは、ほとんどのコンピューティングプラットフォーム上で使用することができますので、Macintosh® のユーザもウェブブラウザを使用して本製品を管理できます。



- Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 1.0 以降、Macintosh® の場合は Safari 1.0 以降を推奨いたします。
- どのウェブブラウザの場合も、JavaScript およびクッキーを有効にして使用してください。
- Safari の場合は、JavaScript を有効にするには、1.2 以降にアップグレードすることを推奨いたします。
- ウェブブラウザを使用するには、プリントサーバの IP アドレスが必要です。
- プリントサーバのお買い上げ時のユーザ名は “admin” で、パスワードは “access” に設定されています。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本製品から取得することができます。

- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- テストページ、プリンタ設定一覧、LAN 設定内容リストの印刷
- プリンタ設定リセット
- ネットワーク設定リセット

### ●条件

- パソコンが TCP/IP プロトコルを使用可能なこと
- パソコンがネットワークに接続可能なこと
- 本製品とパソコンに有効な IP アドレスを設定していること

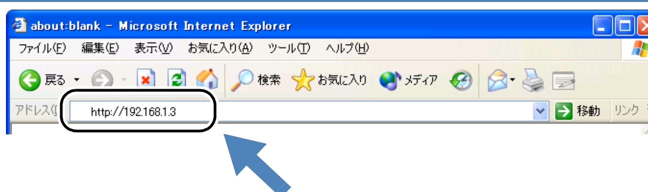
### ●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、アドレスに本製品の IP アドレスを入力します。P.2-12

# ウェブブラウザでプリントサーバの設定を変更する

**1** **ウェブブラウザを起動します。**

**2** **ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になるプリンタの IP アドレス）を入力します。**



例）
本製品のIPアドレスが192.168.1.3の場合
ブラウザに http://192.168.1.3 を入力します。

メモ
hosts ファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本製品の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンタ設定一覧 P.2-5 に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

**3** **[ネットワーク設定] をクリックします。**



**4** **[ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。**

お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

**5** **必要に応じて、プリントサーバの設定を変更します。**

# 第 3 章
# 無線 LAN の設定

# 無線 LAN について

## 概要

本製品を無線 LAN に接続して使用する場合は、「かんたん設置ガイド」または本マニュアルに記載されている「ブラザーインストーラを使用する（Windows® ）」P.3-12 、「ブラザーインストーラを使用する（Macintosh®）」P.3-32 の方法をおすすめします。この方法では、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線 LAN に簡単に接続し、無線 LAN を設定するために必要なネットワークソフトウェアとプリンタドライバをインストールします。TCP/IP 設定については、「IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する」P.2-6 を参照してください。
また、「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する」P.3-51 、「Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する」P.3-61 の方法で無線 LAN を設定することもできます。



- 本製品を無線 LAN アクセスポイント（または無線 LAN 対応のパソコン）の近くに設置してください。
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。
- 本製品は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# 無線 LAN の用語

## SSID（ネットワーク名）とチャンネル

### SSID

それぞれの無線 LAN では独自の SSID を持っています。SSID は無線 LAN アクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線LANアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器と同じSSIDに設定してください。

### チャンネル

無線 LAN ではチャンネルを使用します。IEEE802.11b では 14 チャンネル、IEEE802.11g では 13 チャンネルまで使用できますが、近所で無線 LAN アクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を 5 チャンネル離して設定するのが理想的です。

## 認証方式と暗号化方式について

有線 LAN とは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線 LAN 環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線 LAN に確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

### 認証方式

本製品がサポートする認証方式は次の通りです。

- **オープンシステム：**
  認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。
- **共有キー：**
  あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。
- **WRA-PSK/WPA2-PSK：**
  定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSK による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も WRA-PSK/WPA2-PSK に対応している必要があります。
  WPA2-PSK は、WPA-PSK 方式よりセキュリティの高い認証方式になっています。
- **LEAP：**
  Cisco LEAP（ライト拡張認識プロテクト）は、認証用にユーザー ID とパスワードを使用します。

### 暗号化方式

本製品は下記の暗号化方式をサポートしています。

- **なし：** 暗号化を行いません。
- **WEP：** Wired Equivalency Protocol の略。無線 LAN の暗号化技術です。
無線 LAN での通信は傍受（内容を盗み見られること）が容易なため、送信されるデータを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線 LAN での通信と同様の安全性を持たせます。
- **TKIP：** Temporal Key Integrity protocol の略。暗号キーの更新も含めて、重要データの暗号化を強化します。
無線 LAN のセキュリティ保護に使用される次世代の WEP で、WEP の弱点を修正しています。
- **AES：** Advanced Encryption Standard の略。無線 LAN のプライバシー保護の新しい方法です。
米国政府の次世代標準暗号化方式で、TKIP より強力な暗号化方法を提供します。
- **CKIP：** Cisco Key Integrity Protocol の略。Cisco 社独自のセキュリティプロトコルです。
キー メッセージ整合性チェックとメッセージ シーケンス番号を使用して、インフラストラクチャモードでのセキュリティを強化しています。
CKIP は Cisco 版の TKIP です。

## 暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次の通りです。

- **WEP 暗号化方式**
WEP 暗号化キーは次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで入力します。
  - 64（40）bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。
例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
  - 64（40）bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。
例）"71f2234aba"
  - 128（104）bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。
例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
  - 128（104）bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。
例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"
- **TKIP/AES 暗号化方式**
PSK（事前共有キー）を ASCII 文字 / 半角 8 ～ 63 文字以内で入力します。
TKIP や AES の暗号キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。
- **CKIP 暗号化方式**
LEAP 認証用で使用する ID には 64 文字以内、パスワードには 32 文字以内の ASCII 文字を半角で入力します。
CKIP の暗号化キーは、ID とパスワードなどを元に生成され、定期的に更新されます。

## 本書の用語について

本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

| 主な推奨用語 | 各メーカーで使用されている用語 |
|---|---|
| SSID | ネットワーク名、ESS-ID、ESSID |
| アドホックモード | ピアツーピア通信、無線 LAN パソコン通信 |
| インフラストラクチャモード | アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信 |
| キーインデックス | WEP キー番号、キー番号 |
| 共有キー認証 | シェアードキー認証 |
| 無線 LAN | ワイヤレス LAN |
| 無線 LAN アクセスポイント | 無線 LAN ルータ、ワイヤレス・ブロードバンドルータ |
| 無線 LAN 端末 | 無線 LAN 子機、ワイヤレスステーション |

# 無線 LAN 設定の流れ

## インフラストラクチャモードの場合

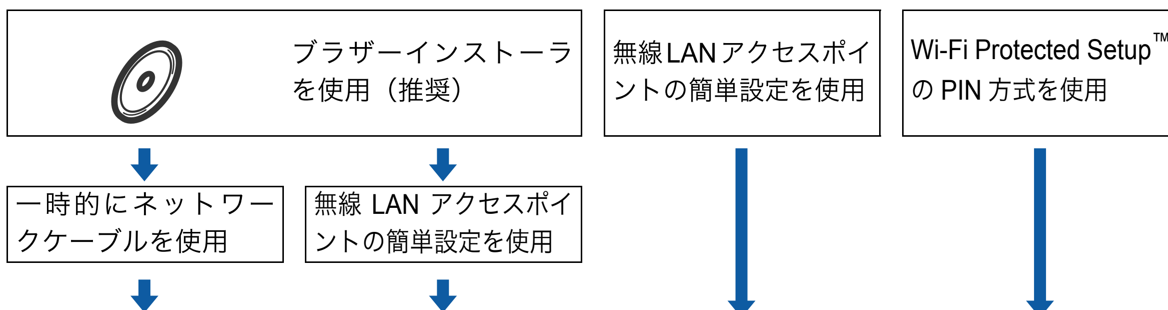
### 1 ネットワーク環境を確認します。P.3-8

**インフラストラクチャモード**
無線LANアクセスポイントとパソコンが接続されている

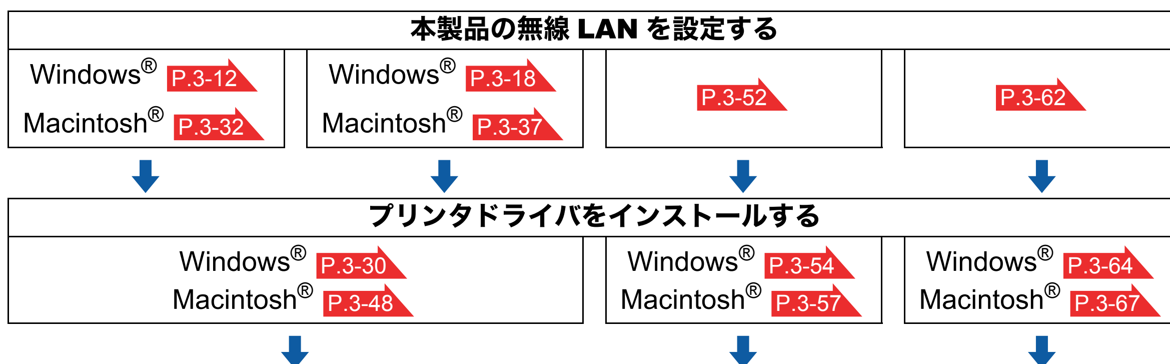
または

**アドホックモード** P.3-7
無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なパソコンが接続されている

### 2 無線 LAN の設定方法を確認します。P.3-9




### 3 本製品の無線 LAN 設定をします。P.3-11




OK! **無線 LAN 設定とプリンタドライバのインストールが完了です。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## アドホックモードの場合

**1 ネットワーク環境を確認します。**P.3-8

| アドホックモード | | インフラストラクチャモード P.3-6 |
|---|---|---|
| 無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なパソコンが接続されている | または | 無線LANアクセスポイントとパソコンが接続されている |



**2 ブラザーインストーラを使用して無線 LAN 設定をする必要があります。**



ブラザーインストーラを使用



**3 本製品の無線 LAN を設定します。**P.3-11

| 本製品の無線 LAN を設定する |
|---|
| Windows® P.3-22 |
| Macintosh® P.3-41 |



| プリンタドライバをインストールする |
|---|
| Windows® P.3-30 |
| Macintosh® P.3-48 |

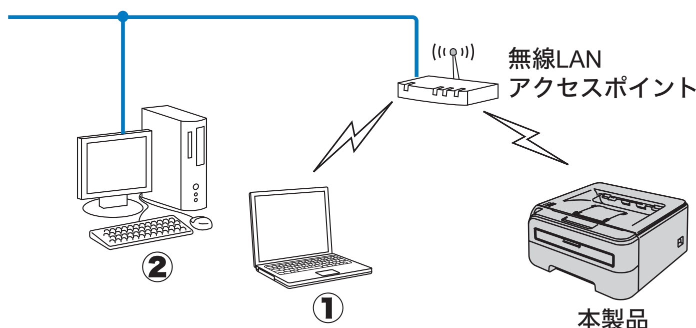


**OK! 無線 LAN 設定とプリンタドライバのインストールが完了です。**

# ネットワーク環境を確認する

## ●ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントとパソコンが接続されている場合（インフラストラクチャモード）

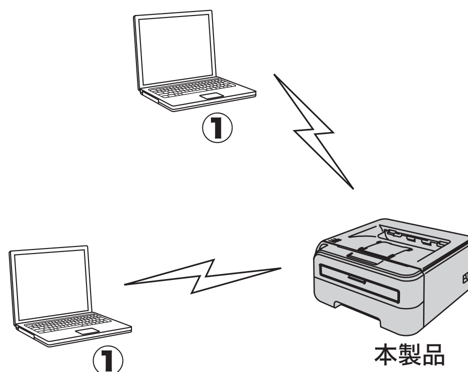
インフラストラクチャモードのネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。
無線 LAN アクセスポイントは、有線 LAN へ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。
本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。




①無線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン
②有線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン

## ●ネットワーク上に無線 LAN アクセスポイントがなく、無線通信可能なパソコンが接続されている場合（アドホックモード）

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線 LAN 機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するパソコンからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。




①無線 LAN 対応パソコン

# インフラストラクチャモードでの無線 LAN 設定の方法を確認する

インフラストラクチャモードで本製品の無線 LAN 設定をする場合は、次の 3 つの方法があります。
- 付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用する（推奨）
- 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する
- Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する

ただし、設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。



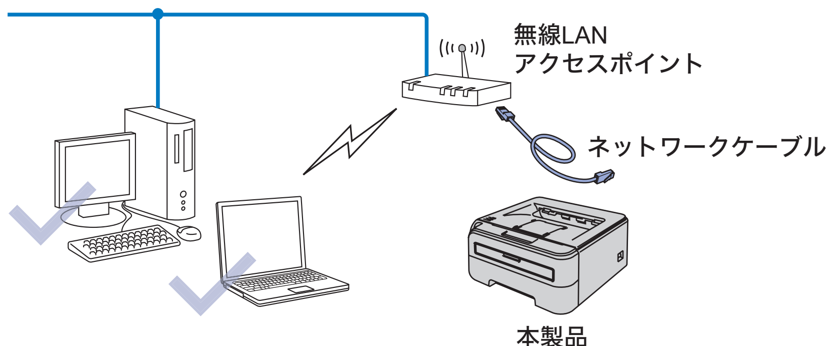
アドホックモードで本製品の無線 LAN 設定をする場合は、付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用します。

## ● ブラザーインストーラを使用する

インフラストラクチャモードで本製品の無線 LAN 設定をする場合は、付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用することをおすすめします。このインストーラを使用すると、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線 LAN に簡単に接続し、無線 LAN を設定するために必要なネットワークソフトウェアとプリンタドライバをインストールします。ただし、インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。

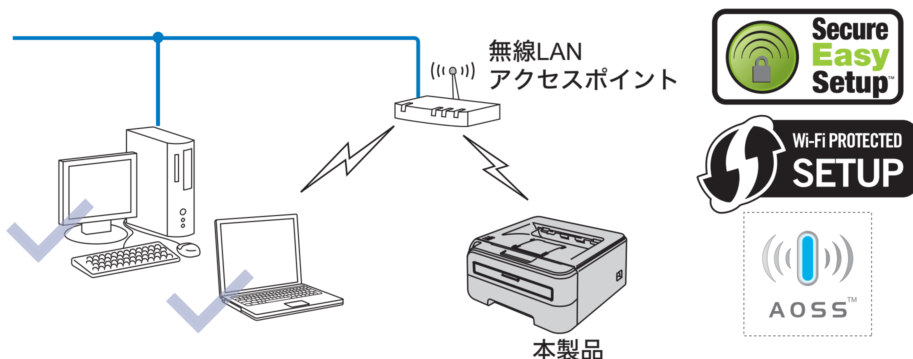
**ネットワークケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする**

無線 LAN アクセスポイントと本製品を一時的にネットワークケーブルを使用して接続し、本製品の無線 LAN 設定をします。
無線 LAN アクセスポイントと同じネットワーク上のパソコンから本製品を遠隔設定することができます。




**無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする**

本製品に接続する無線 LAN アクセスポイントが SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™（PBC ※1 方式）、AOSS™ のいずれかに対応している場合に、無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線 LAN 設定をします。

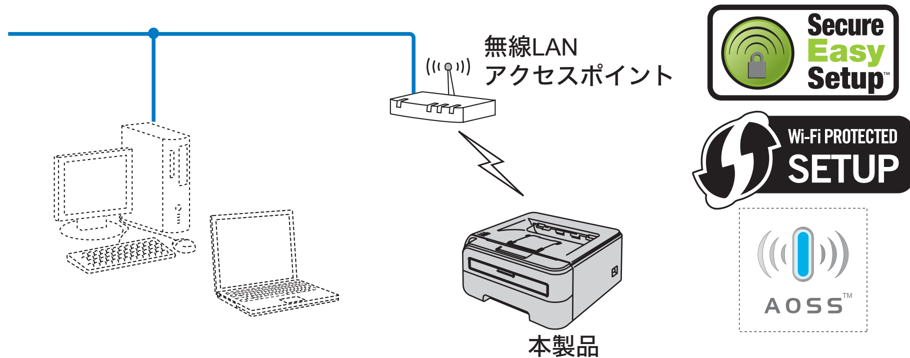



※ 1　Push Button Configuration

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™（PBC ※1 方式）、AOSS™ のいずれかに対応している場合に、本製品の無線 LAN 設定をします。

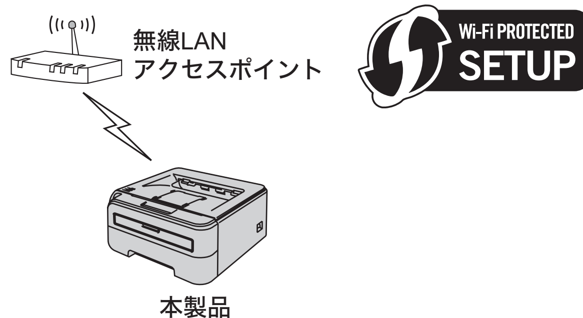



※ 1　Push Button Configuration

## Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する

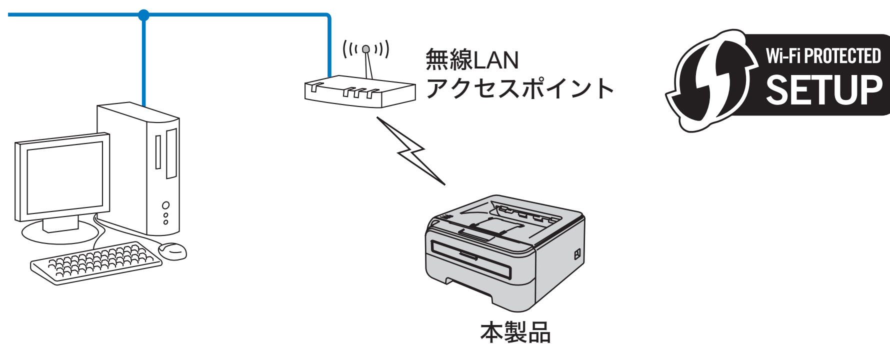
本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが Wi-Fi Protected Setup™ に対応している場合は、Wi-Fi Protected Setup™ の PIN ※1 方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。

### 無線 LAN アクセスポイントをレジストラ※2 としても使用する場合の接続




※ 1　Personal Identification Number
※ 2　レジストラとは無線 LAN の登録管理機器です。

### パソコンからなど別の機器をレジストラ※1 として使用する場合の接続




※ 1　レジストラとは無線 LAN の登録管理機器です。

# 本製品の無線 LAN 設定をする

## ● 付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラを使用する（推奨）

インストールについては、「ブラザーインストーラを使用する（Windows®）」P.3-12 または「ブラザーインストーラを使用する（Macintosh®）」P.3-32 を参照してください。

## ● 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する

インストールについては、「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する」P.3-51 を参照してください。

## ● Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する

インストールについては、「Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する」P.3-61 を参照してください。

# ブラザーインストーラを使用する（Windows®）

## インフラストラクチャモードでの無線 LAN 設定

### ネットワークケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**

- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。
- 本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳細は、「ネットワーク設定をリセットする」P.2-4 を参照してください。
- パーソナルファイアウォール（Windows® ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線 LAN の設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。
- 設定にはネットワークケーブルが必要です。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1** **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2** **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**3** **パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**4** **本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

**5** **［HL-2170W］をクリックします。**

**6** **［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 7 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。

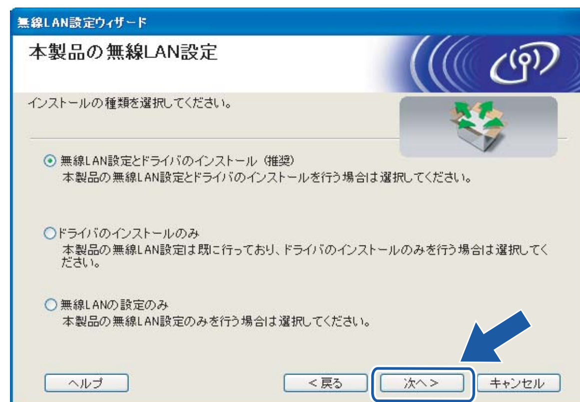



メモ

Windows Vista® の場合は､｢ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［許可］をクリックします。




## 8 「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN の設定のみ」を選択し、［次へ］をクリックします。




## 9 「手動設定インストール（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

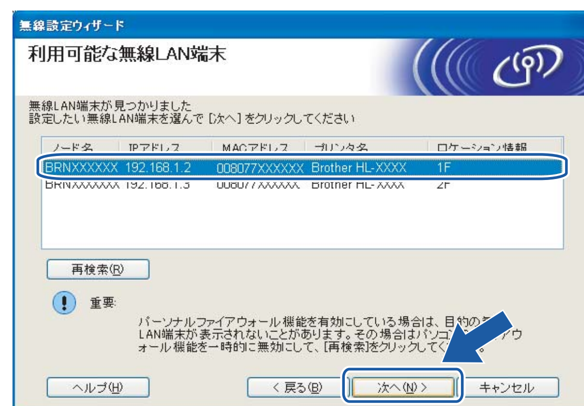
## 10 「LAN ケーブルを使用します（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。



## 11 ネットワークケーブルで本製品を無線LANアクセスポイントに接続し、［次へ］をクリックします。



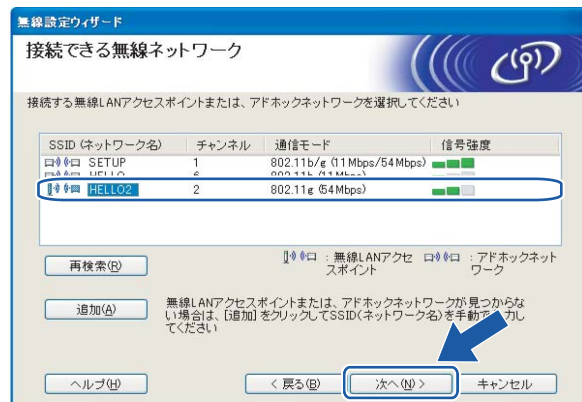
## 12 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックします。



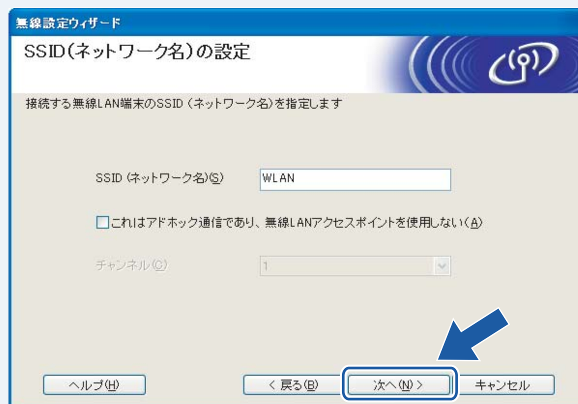
メモ

- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

**13** **無線LANアクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線LANアクセスポイントを選択し、[次へ] をクリックします。**

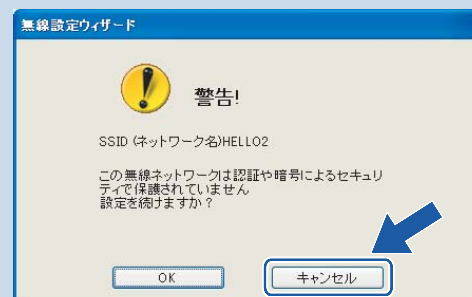



- 本製品のお買い上げ時の SSID は “SETUP” です。この SSID は選択しないでください。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源スイッチが ON になっていること、SSID が割り当てられていることを確認します。さらに本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、[再検索] をクリックします。
- SSID を出力しないように無線 LAN アクセスポイントが設定されている場合は、無線 LAN アクセスポイントの SSID が表示されません。その場合は、[追加] をクリックすると、手動で追加できます。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力し、[次へ] をクリックします。






無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
[キャンセル] をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。



## 14 本製品が接続する無線LANアクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、[次へ] をクリックします。



- WEP キー 1 以上を設定したいときは、[詳細] をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが無線 LAN アクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

## 15 設定を確認し、[次へ] をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
[キャンセル] をクリックすると、設定は無効になります。



本製品の IP アドレスを変更する場合は、[IP アドレスの変更] をクリックして手動で設定してください。

**16** **無線LANアクセスポイントと本製品から接続しているネットワークケーブルを外し、[次へ] をクリックします。**




OK! **本製品の無線 LAN 設定は完了しました。手順 8 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、「プリンタドライバをインストールする」** P.3-30 **へ進んでください。**

## 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**

- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2 本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**3 パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**4 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

**5 ［HL-2170W］をクリックします。**

**6 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**

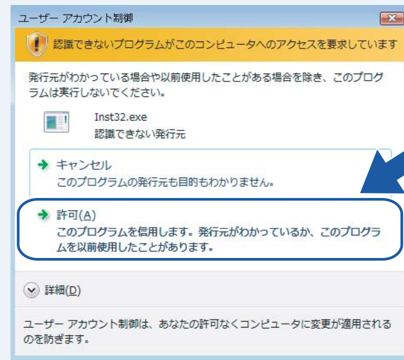



**7 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**

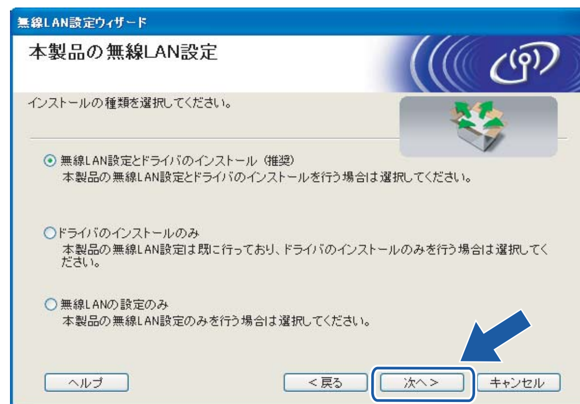





Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［許可］をクリックします。




8 「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN 設定のみ」を選択し、［次へ］をクリックします。



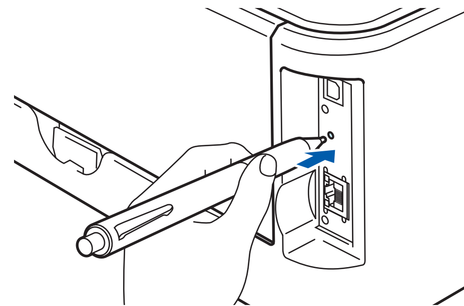

9 「自動設定インストール」を選択し、［次へ］をクリックします。




10 画面の内容を確認し、［次へ］をクリックします。



## 11 本体背面の無線設定ボタンを押します。





- ボールペンなど先が尖った物で無線設定ボタンを押してください。
- 無線設定ボタンを 3 秒以上押すと、本製品が Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式に切り替わります。「Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式での無線 LAN 設定」P.3-61 を参照してください。

## 12 本製品が簡単設定モードに切り替わります。

SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行います。

## 13 無線 LAN アクセスポイントを対応するモード（SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™）にします。

詳細は、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

## 14 (Ready ランプ) が点灯するまで待ちます。

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、(Ready ランプ) が 5 分間点灯します。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- ランプがセッションオーバーラップを示す場合（下記参照）は、対応するモードが実行中の無線 LAN アクセスポイントを 2 つ以上検出しています。Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直してください。
- ランプが接続失敗を示す場合（下記参照）は、本製品は無線 LAN アクセスポイントに正常に接続されていません。手順 11 からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし P.2-4 、最初からやり直してください。

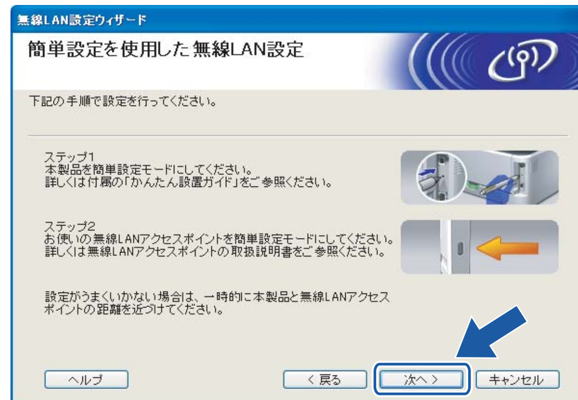
### ● 簡単設定モードを使用したときのランプ表示

| ランプ | 無線 LAN アクセスポイント検索中またはアクセス中※1 | 接続中または無線 LAN アクセスポイントから設定をダウンロード中※1 | 接続成功※2 | 接続失敗※3 | セッションオーバーラップを検出※4 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Toner（黄） | | | | | | | |
| Drum（黄） | | | | | | | |
| Error（赤） | | | | | | ↔ | |
| Ready（青） | | | | | | | |

※ 1　0.2 秒間点灯、0.1 秒間消灯を交互に繰り返します。
※ 2　5 分間点灯します。
※ 3　0.1 秒間点灯、0.1 秒間消灯を 30 秒間交互に繰り返します。
※ 4　10 回点滅、0.5 秒間消灯を 20 回繰り返します。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

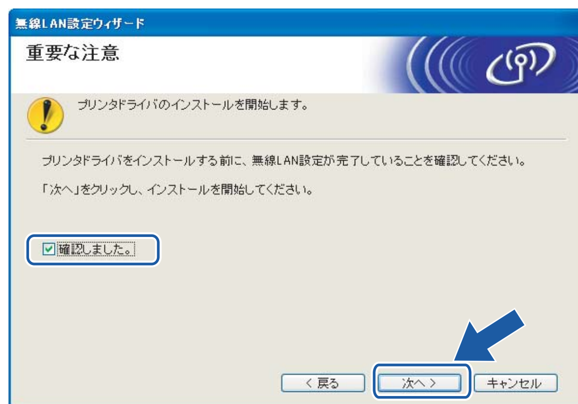
## 15 ［次へ］または［完了］をクリックします。




**OK! 無線 LAN 設定は完了しました。手順 8 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、手順 16 へ進んでください。**

## 16 無線LAN設定が完了したことを確認し、「確認しました」チェックボックスをチェックし、［次へ］をクリックします。

「プリンタドライバをインストールする」P.3-30 へ進んでください。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# アドホックモードでの無線 LAN 設定

## 手動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**

- 本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳細は、「ネットワーク設定をリセットする」P.2-4 を参照してください。
- パーソナルファイアウォール（Windows® ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線 LAN の設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1** フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

**2** 本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。

**3** パソコンの電源スイッチを ON にします。

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**4** 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

オープニング画面が表示されます。

**5** [HL-2170W] をクリックします。

**6** [プリンタドライバのインストール] をクリックします。




**7** [ネットワーク（無線）の場合] をクリックします。

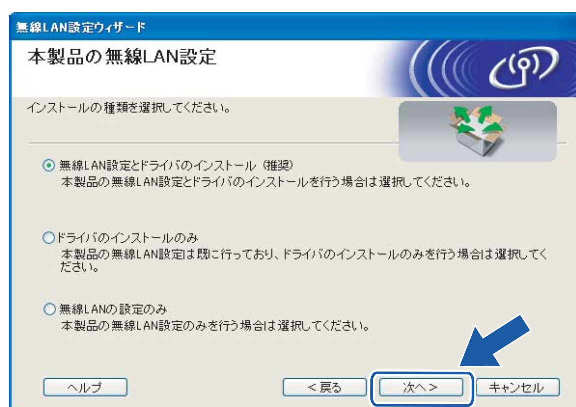




Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［許可］をクリックします。



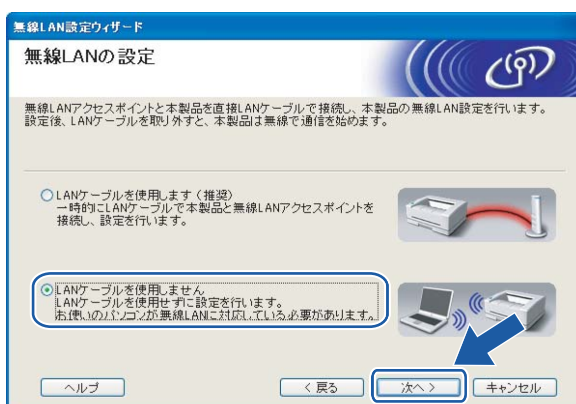

8 「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN 設定のみ」を選択し、［次へ］をクリックします。




9 「手動設定インストール（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。



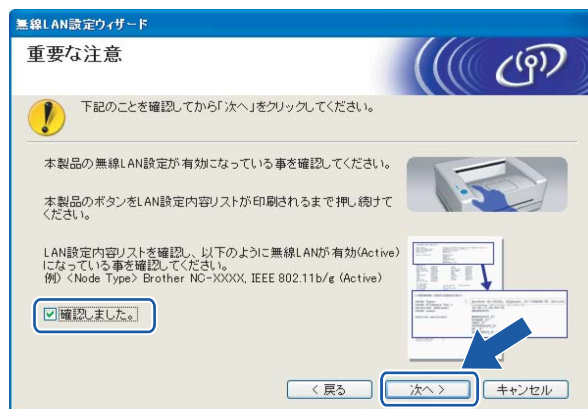

10 「LANケーブルを使用しません」を選択し、［次へ］をクリックします。



## 11 「重要な注意」の内容に従って無線 LAN 設定を有効にします。

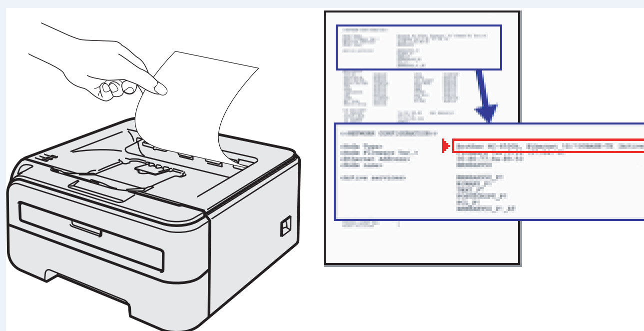
**操作パネルの (Go ボタン)を 10 秒間押したままの状態にし、LAN設定内容リストが印刷されたら操作パネルの (Go ボタン)から指を離します。**

**無線LAN設定が有効であることを確認し、「確認しました。」チェックボックスをチェックして［次へ］をクリックします。**






LAN 設定内容リストの「Node Type」欄の「IEEE802.11b/g」で無線 LAN の有効または無効を確認できます。
有効の場合は“Active”、無効の場合は“Inactive”と記載されています。
無効になっている場合は、再度操作パネルの (Go ボタン)を 10 秒間押して無線 LAN を有効にしてください。



## 12 パソコンの無線 LAN 設定を一時的に変更します。

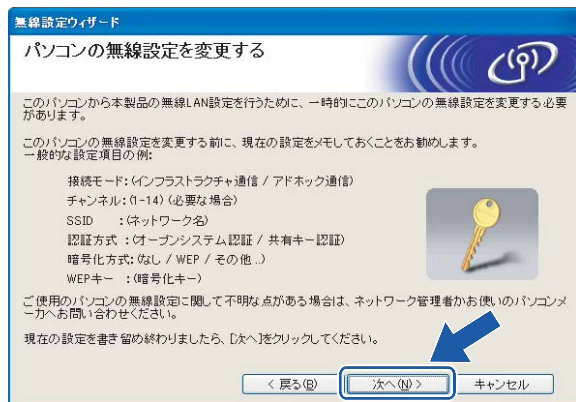


SSID やチャンネルなど、必ずパソコンの現在の設定をメモしておいてください。パソコンを元の無線 LAN 設定に戻すときに必要です。

一般的な設定項目の例を次に示します。このページを印刷してメモの際にご利用ください。

| 項目 | パソコンの現在の無線 LAN 設定 |
|---|---|
| 接続モード：<br>(インフラストラクチャ / アドホック) | |
| チャンネル：(1 ～ 14) | |
| SSID：(ネットワーク名) | |
| 認証方式：<br>(オープンシステム認証 / 共有キー認証) | |
| 暗号化方式：(なし / WEP / その他 ...) | |
| WEP キー (暗号化キー)： | |

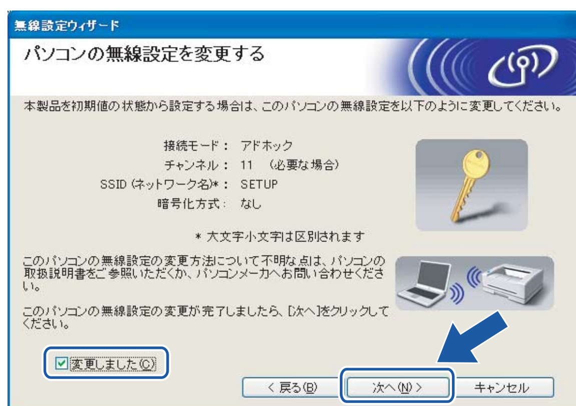
## 13 現在の設定を書き留め終わったら、[次へ] をクリックします。



## 14 無線LAN設定されていない本製品と接続するために、パソコンの無線LAN設定を一時的に画面に表示されている設定に変更します。

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）

**無線 LAN 設定の変更が完了したら、「変更しました」チェックボックスをチェックし、[次へ] をクリックします。**



メモ

- 無線 LAN 設定の変更後、パソコンの再起動を促すメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動後、手順 4 に戻ってやり直します。ただし、手順 12 ～ 14 は［次へ］をクリックするだけで次に進んでください。
- パソコンの無線 LAN 設定を変更する場合は、「パソコンの無線 LAN 設定を変更する」P.3-29 を参照してください。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

## 15 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、[次へ] をクリックします。



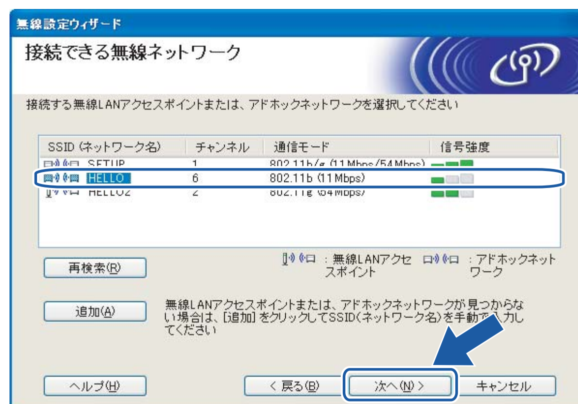


はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録



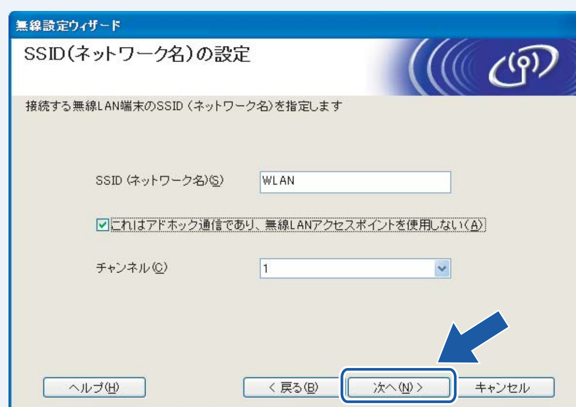
- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

**16 無線LANアクセスポイントまたはアドホックネットワークが複数ある場合は、一覧から本製品を接続するアドホックネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。**





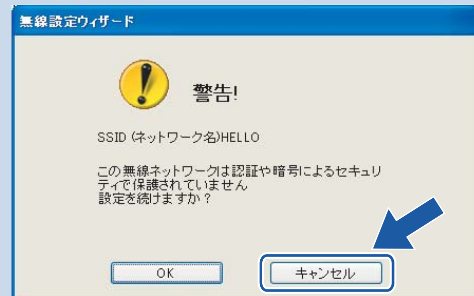

- 一覧が空白の場合は、本製品が無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- 接続するアドホックネットワークが一覧にない場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。「これはアドホックモードであり、無線 LAN アクセスポイントを使用しない」チェックボックスをチェックし、「SSID（ネットワーク名）」と「チャンネル」を入力し、［次へ］をクリックします。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録



無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。




**17** **本製品が接続するアドホックネットワークに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、［次へ］をクリックします。**

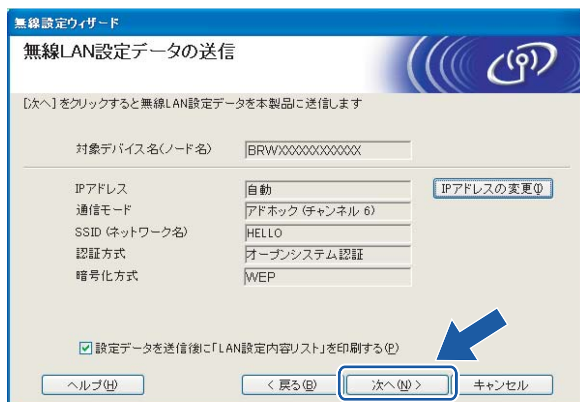





- WEP キー 1 以上を設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが接続するアドホックネットワークのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

**18** **設定を確認し、［次へ］をクリックします。**

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。



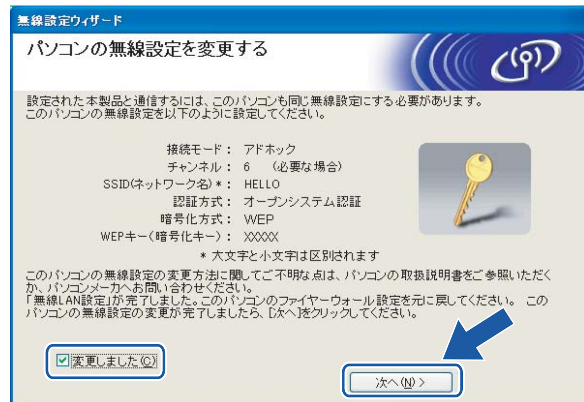



本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

**19** **本製品と通信する場合は、パソコンの無線LAN設定を画面に表示されている設定に変更します。**

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）

**無線 LAN 設定の変更が完了したら、「変更しました」チェックボックスをチェックし、［次へ］または［完了］をクリックします。**






パソコンの無線 LAN 設定を変更する場合は、「パソコンの無線 LAN 設定を変更する」P.3-29 を参照してください。

**OK!** **無線 LAN 設定は完了しました。手順 8 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、「プリンタドライバをインストールする」**P.3-30 **へ進んでください。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## パソコンの無線 LAN 設定を変更する

### Windows Vista® の場合

①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
②「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックします。
③「ネットワークに接続」をクリックします。
一覧に本製品の SSID が表示されます。
④「SETUP」を選択し、「接続」をクリックします。
⑤「接続します」をクリックし、次に「閉じる」をクリックします。
⑥「ステータスを見る」または「ワイヤレスネットワーク接続（SETUP)」の「状態の表示」をクリックします。
⑦「詳細」をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
IP アドレスを「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更します。（xxx は 1 ～ 254 までの数字）画面に表示するまで数分かかることがあります。

### Windows® XP SP2 ユーザーの場合

①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
②「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
③「ネットワーク接続」をクリックします。
④「ワイヤレス ネットワーク接続」アイコンを右クリックし、「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」をクリックします。
一覧に本製品の SSID が表示されます。
⑤「SETUP」を選択し、「接続」をクリックします。
⑥「ワイヤレスネットワーク接続状況を確認します。
IP アドレスを「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更します。（xxx は 1 ～ 254 までの数字）画面に表示するまで数分かかることがあります。

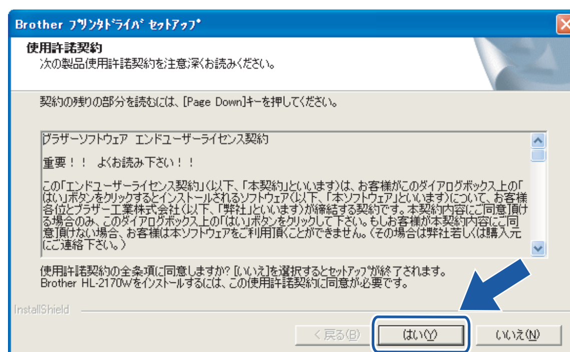
# プリンタドライバをインストールする



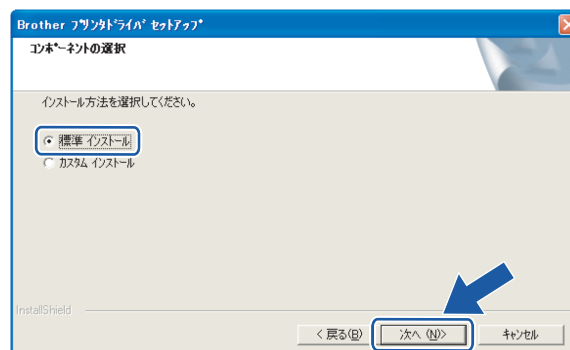
プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

**1** **無線 LAN 設定が完了すると、プリンタドライバのインストールが開始され、使用許諾契約画面が表示されます。**

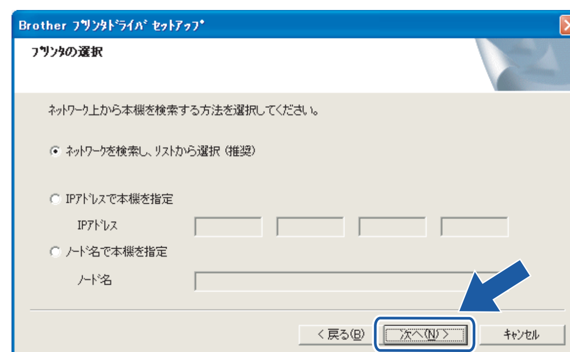
**使用許諾契約の内容をよくお読みなり、［はい］をクリックします。**




**2** **「標準インストール」を選択し、［次へ］をクリックします。**



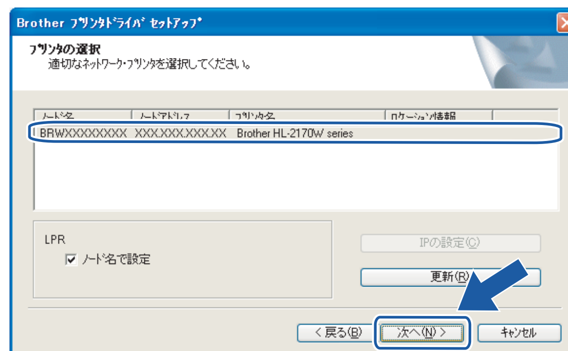

**3** **「ネットワークを検索し、リストから選択（推奨）」を選択するか、本製品の IP アドレスかノード名を入力し、［次へ］をクリックします。**






プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

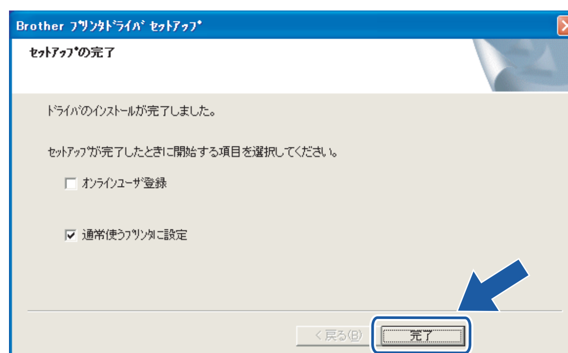
## 4 本製品を選択し、[次へ] をクリックします。






1 分以上経過しても本製品が一覧に表示されない場合は、[再検索] をクリックします。それでも本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットし P.2-4 、無線 LAN 設定をやり直してください。

## 5 [完了] をクリックします。






- 本製品をオンラインでユーザー登録する場合は、「オンラインユーザ登録」チェックボックスをチェックしてください。
- 本製品を通常使用するプリンタに設定しない場合は、「通常使うプリンタに設定」チェックボックスのチェックを外します。
- 無線 LAN 設定時にパーソナルファイアウォールソフトウェア（Windows® ファイアウォールなど）を無効にした場合は、有効にしてください。

# ブラザーインストーラを使用する（Macintosh®）

## インフラストラクチャモードでの無線 LAN 設定

### ネットワークケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**

- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。
- 本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳細は、「ネットワーク設定をリセットする」P.2-4 を参照してください。
- パーソナルファイアウォールを有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線 LAN の設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。
- 設定にはネットワークケーブルが必要です。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1** **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2** **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

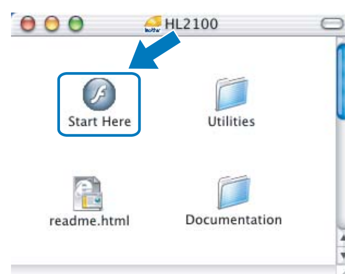
**3** **Macintosh® の電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログインします。

**4** **本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。**

**5** **［HL2100］アイコンをダブルクリックします。**

**［Start Here］アイコンをダブルクリックします。**




**6** **［HL-2170W］をクリックします。**

**7** **［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

**8** ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。




**9** 「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN 設定のみ」を選択し、［次へ］をクリックします。




**10** 「手動設定インストール（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。




**11** 「LAN ケーブルを使用します（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

**12** **ネットワークケーブルで本製品を無線LANアクセスポイントに接続し、［次へ］をクリックします。**



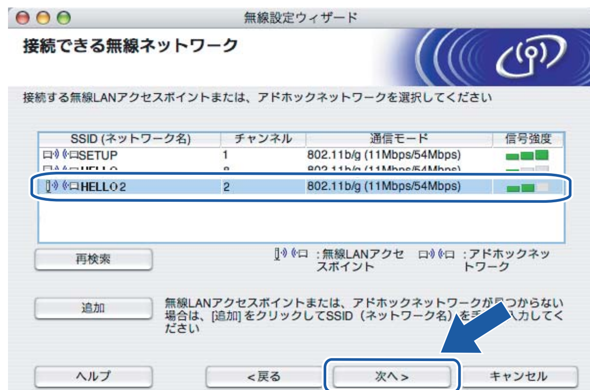

**13** **無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックします。**




メモ

- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

**14** **無線LANアクセスポイントが複数ある場合は、一覧から本製品を接続する無線LANアクセスポイントを選択し、［次へ］をクリックします。**



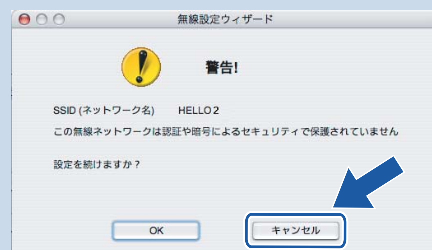


- 本製品のお買い上げ時の SSID は “SETUP” です。この SSID は選択しないでください。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源スイッチが ON になっていること、SSID が割り当てられていることを確認します。さらに本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- SSID を出力しないように無線 LAN アクセスポイントが設定されている場合は、無線 LAN アクセスポイントの SSID が表示されません。その場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力し、［次へ］をクリックします。






無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。




**15** **本製品が接続する無線LANアクセスポイントに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、［次へ］をクリックします。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録



- WEP キー 1 以上を設定したいときは、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが無線LANアクセスポイントのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

## 16 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。






本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。

## 17 無線LANアクセスポイントと本製品から接続しているネットワークケーブルを外し、［次へ］をクリックします。




OK! **本製品の無線 LAN 設定は完了しました。手順 9 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、「プリンタドライバをインストールする」P.3-48 へ進んでください。**

## 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**
- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1** **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

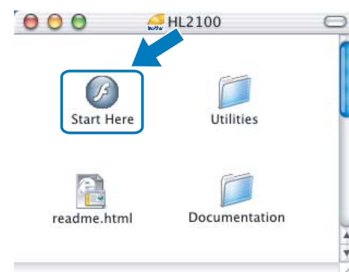
**2** **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**3** **Macintosh® の電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログインします。

**4** **本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。**

**5** **［HL2100］アイコンをダブルクリックします。**
**［Start Here］アイコンをダブルクリックします。**




**6** **［HL-2170W］をクリックします。**

**7** **［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

**8** [ネットワーク（無線）の場合] をクリックします。




**9** 「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN 設定のみ」を選択し、[次へ] をクリックします。



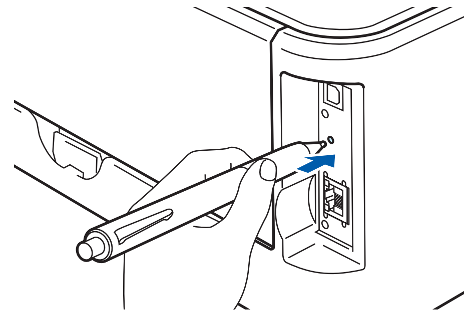

**10** 「自動設定インストール（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。




**11** 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。



## 12 本体背面の無線設定ボタンを押します。






- ボールペンなど先が尖った物で無線設定ボタンを押してください。
- 無線設定ボタンを 3 秒以上押すと、本製品が Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式に切り替わります。「Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式での無線 LAN 設定」P.3-61 を参照してください。

## 13 本製品が簡単設定モードに切り替わります。

SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行います。

## 14 無線 LAN アクセスポイントを対応するモード（SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™）にします。

詳細は、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

## 15 （Ready ランプ）が点灯するまで待ちます。

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、（Ready ランプ）が 5 分間点灯します。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- ランプがセッションオーバーラップを示す場合（下記参照）は、対応するモードが実行中の無線 LAN アクセスポイントを 2 つ以上検出しています。Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 11 からやり直してください。
- ランプが接続失敗を示す場合（下記参照）は、本製品は無線 LAN アクセスポイントに正常に接続されていません。手順 11 からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし P.2-4 、最初からやり直してください。

### ● 簡単設定モードを使用したときのランプ表示

| ランプ | 無線 LAN アクセスポイント検索中またはアクセス中※1 | 接続中または無線 LAN アクセスポイントから設定をダウンロード中※1 | 接続成功※2 | 接続失敗※3 | セッションオーバーラップを検出※4 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Toner（黄） | | | | | | | |
| Drum（黄） | | | | | | | |
| Error（赤） | | | | | | ↔ | |
| Ready（青） | | | | | | | |

※ 1　0.2 秒間点灯、0.1 秒間消灯を交互に繰り返します。
※ 2　5 分間点灯します。
※ 3　0.1 秒間点灯、0.1 秒間消灯を 30 秒間交互に繰り返します。
※ 4　10 回点滅、0.5 秒間消灯を 20 回繰り返します。

## 16 ［次へ］または［完了］をクリックします。




**無線 LAN 設定は完了しました。手順 9 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、手順 16 へ進んでください。**

## 17 無線LAN設定が完了したことを確認し、「確認しました」チェックボックスをチェックし、［次へ］をクリックします。

「プリンタドライバをインストールする」P.3-48 へ進んでください。



# アドホックモードでの無線 LAN 設定

## 手動で無線 LAN 設定をする



**無線 LAN 設定をはじめる前に**

- 本製品の無線 LAN 設定が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳細は、「ネットワーク設定をリセットする」P.2-4 を参照してください。
- パーソナルファイアウォールを有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線 LAN の設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1** **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2** **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

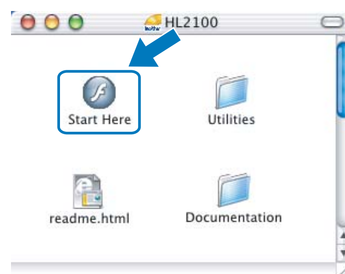
**3** **Macintosh® の電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログインします。

**4** **本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。**

**5** **［HL2100］アイコンをダブルクリックします。**

**［Start Here］アイコンをダブルクリックします。**




**6** **［HL-2170W］をクリックします。**

**7** **［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**



**8** **[ネットワーク（無線）の場合］を クリックします。**




**9** **「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」または「無線 LAN 設定のみ」を選択し、[次へ] をクリックします。**




**10** **「手動設定インストール（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。**




**11** **「LANケーブルを使用しません」を選択し、[次へ] をクリックします。**



## 12 「重要な注意」の内容に従って無線 LAN 設定を有効にします。

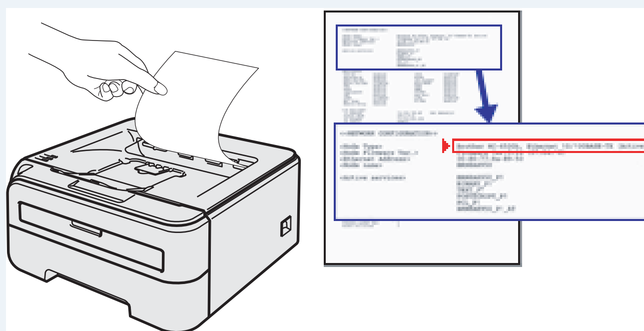



**操作パネルの（Go ボタン）を 10 秒間押したままの状態にし、LAN設定内容リストが印刷されたら操作パネルの（Go ボタン）から指を離します。**

**無線LAN設定が有効であることを確認し、「確認しました。」チェックボックスをチェックして［次へ］をクリックします。**




LAN 設定内容リストの「Node Type」欄の「IEEE802.11b/g」で無線 LAN の有効または無効を確認できます。
有効の場合は“Active”、無効の場合は“Inactive”と記載されています。
無効になっている場合は、再度操作パネルの（Go ボタン）を 10 秒間押して無線 LAN を有効にしてください。



## 13 Macintosh® の無線 LAN 設定を一時的に変更します。

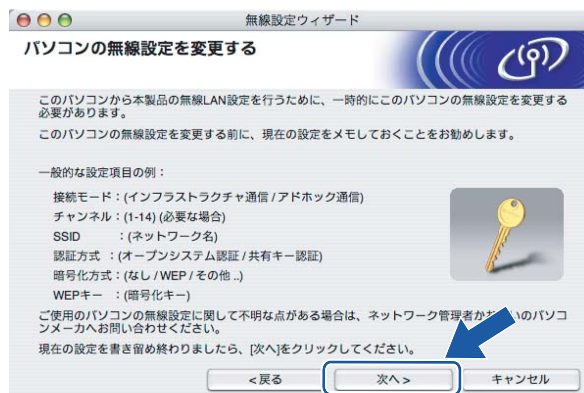


SSID やチャンネルなど、必ず Macintosh® の現在の設定をメモしておいてください。Macintosh® を元の無線 LAN 設定に戻すときに必要です。

一般的な設定項目の例を次に示します。このページを印刷してメモの際にご利用ください。

| 項目 | Macintosh® の現在の無線 LAN 設定 |
|---|---|
| 接続モード：<br>（インフラストラクチャ / アドホック） | |
| チャンネル：（1 ～ 14） | |
| SSID：（ネットワーク名） | |
| 認証方式：<br>（オープンシステム認証 / 共有キー認証） | |
| 暗号化方式：（なし / WEP / その他 ...） | |
| WEP キー（暗号化キー）： | |

**14** 現在の設定を書き留め終わったら、［次へ］をクリックします。




**15** 無線LAN設定されていない本製品と接続するために、Macintosh® の無線LAN設定を一時的に画面に表示されている設定に変更します。

（右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。）

**無線 LAN 設定の変更が完了したら、「変更しました」チェックボックスをチェックし、［次へ］をクリックします。**

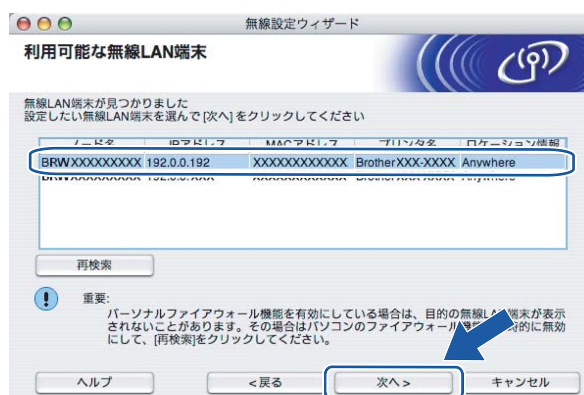






Macintosh® の無線 LAN 設定を変更する場合は、「Macintosh® の無線 LAN 設定を変更する」P.3-47 を参照してください。

**16** 無線 LAN 端末が複数ある場合は、一覧から本製品を選択し、［次へ］をクリックします。

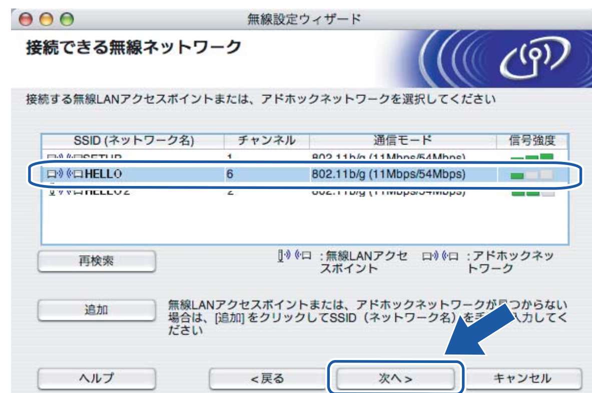






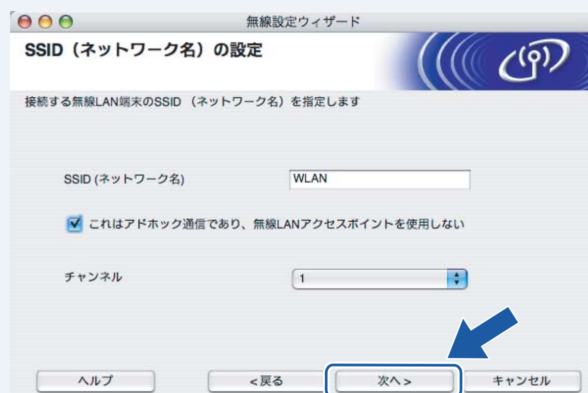
- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。
- 一覧が空白の場合は、本製品の電源スイッチが ON になっていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

**17** **無線LANアクセスポイントまたはアドホックネットワークが複数ある場合は、一覧から本製品を接続するアドホックネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。**



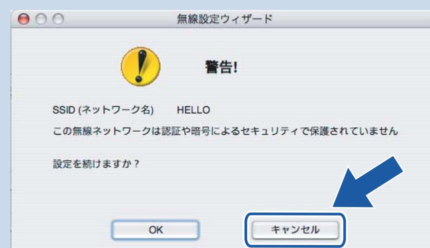

メモ

- 一覧が空白の場合は、本製品が無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックします。
- 接続するアドホックネットワークが一覧にない場合は、［追加］をクリックすると、手動で追加できます。「これはアドホックモードであり、無線 LAN アクセスポイントを使用しない」チェックボックスをチェックし、「SSID（ネットワーク名）」と「チャンネル」を入力し、［次へ］をクリックします。






無線 LAN が認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない場合は、右の画面が表示されます。
［キャンセル］をクリックしてインストールを中止し、無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをおすすめします。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。
無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定後に、再度インストールを進めてください。



## 18 本製品が接続するアドホックネットワークに設定している認証方式、暗号化方式、ネットワークキーなどを設定し、[次へ] をクリックします。







- WEP キー 1 以上を設定したいときは、[詳細] をクリックします。
- ネットワークの認証または暗号化設定が分からないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- ネットワークキーが接続するアドホックネットワークのネットワークキーと異なっていても、エラーは表示されません。

## 19 設定を確認し、[次へ] をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されます。
[キャンセル] をクリックすると、設定は無効になります。







本製品の IP アドレスを変更する場合は、[IP アドレスの変更] をクリックして手動で設定してください。

## 20 本製品と通信する場合は、Macintosh® の無線 LAN 設定を画面に表示されている設定に変更します。

(右の画面は一例です。実際の画面に表示されている設定に変更してください。)

**無線 LAN 設定の変更が完了したら、「変更しました」チェックボックスをチェックし、[次へ] または [完了] をクリックします。**





Macintosh® の無線 LAN 設定を変更する場合は、「Macintosh® の無線 LAN 設定を変更する」P.3-47 を参照してください。



**無線 LAN 設定は完了しました。手順 8 で「無線 LAN 設定とドライバのインストール（推奨）」を選択した場合は、「プリンタドライバをインストールする」P.3-48 へ進んでください。**

## Macintosh® の無線 LAN 設定を変更する

① メニューバーの［AirMac］アイコンをクリックし、［“インターネット接続”を開く］をクリックします。
② ［ネットワーク］タブをクリックし、利用可能な無線 LAN 端末を確認します。
　ネットワークオプションに本製品が表示されます。
③ 「SETUP」を選択します。
　無線 LAN に正常に接続されています。

# プリンタドライバをインストールする



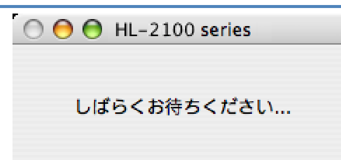
プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

**1 無線 LAN 設定が完了すると、プリンタドライバのインストールが開始されます。**

**画面の指示に従って、Macintosh® を再起動します。**

- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 4 に進んでください。
- Mac OS® X 10.3 以降の場合は、手順 2 に進んでください。

**2 右の画面が表示され、本製品が検索されます。**






- 複数のプリンタが利用可能な場合は、次の一覧が表示されます。本製品を選び、[OK] をクリックします。




- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

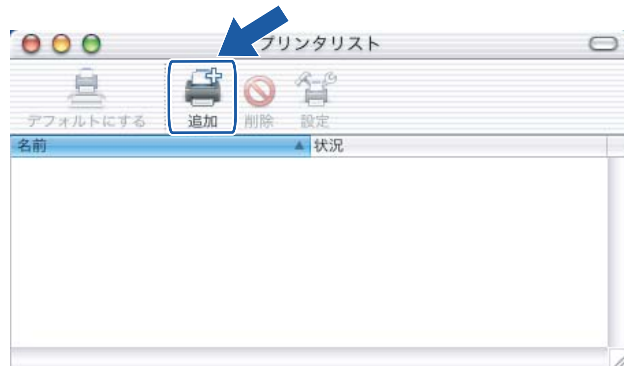
**3 右の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。**






**Mac OS® X 10.3 以降の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

## 4 右の画面が表示されたら、[追加] をクリックします。




## 5 右の画面の通りに選択します。




## 6 本製品を選択し、[追加] をクリックします。



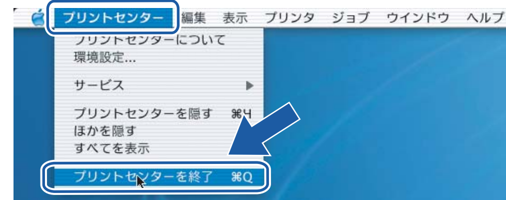



一覧に本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットし P.2-4 、無線 LAN 設定をやり直してください。



- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。
- 無線 LAN 設定時にパーソナルファイアウォールソフトウェアを無効にした場合は、有効にしてください。

**7 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] をクリックします。**




**OK! Mac OS® X 10.2.4～10.2.8の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

# 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する

## 概要

無線 LAN アクセスポイントが SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™（PBC ※1 方式）、AOSS™ のいずれかに対応している場合は、パソコンを使用しないで簡単に本製品の無線 LAN 設定ができます。本製品の簡単設定モードでは、無線 LAN アクセスポイントが簡単設定方式のどのモード（SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™）を使用しているかを自動検出します。
無線 LAN アクセスポイントと本製品のボタンを押すと、無線 LAN 設定およびセキュリティ設定が行われます。無線 LAN アクセスポイントの簡単設定の操作手順については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※1　Push Button Configuration

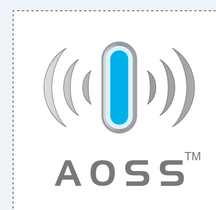



SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ に対応している無線 LAN アクセスポイントには、次のマークが示されています。









## 無線 LAN 設定をする

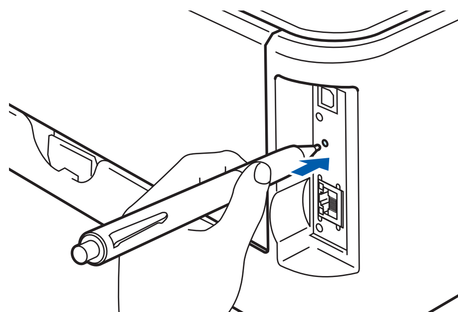


**無線 LAN 設定をはじめる前に**
本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

**1 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2 本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**3 本体背面の無線設定ボタンを押します。**





- ボールペンなど先が尖った物で無線設定ボタンを押してください。
- 無線設定ボタンを 3 秒以上押すと、本製品が Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式に切り替わります。「Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式での無線 LAN 設定」P.3-61 を参照してください。

**4 本製品が簡単設定モードに切り替わります。**

SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を 2 分間行います。

**5 無線 LAN アクセスポイントを対応するモード（SecureEasySetup™、Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™）にします。**

詳細は、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

**6 （Ready ランプ）が点灯するまで待ちます。**

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、（Ready ランプ）が 5 分間点灯します。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- ランプがセッションオーバーラップを示す場合P.3-53 は、対応するモードが実行中の無線 LAN アクセスポイントを 2 つ以上検出しています。Wi-Fi Protected Setup™ または AOSS™ の無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、手順 1 からやり直してください。
- ランプが接続失敗を示す場合P.3-53 は、本製品は無線 LAN アクセスポイントに正常に接続されていません。手順 1 からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、本製品のネットワーク設定をリセットしP.2-4 、手順 1 からやり直してください。

## 簡単設定モードを使用したときのランプ表示

| ランプ | 無線 LAN アクセスポイント検索中またはアクセス中※1 | 接続中または無線 LAN アクセスポイントから設定をダウンロード中※1 | 接続成功※2 | 接続失敗※3 | セッションオーバーラップを検出※4 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Toner（黄） | | | | | | | |
| Drum（黄） | | | | | | | |
| Error（赤） | | | | | | ↔ | |
| Ready（青） | | | | | | | |

※ 1　0.2 秒間点灯、0.1 秒間消灯を交互に繰り返します。
※ 2　5 分間点灯します。
※ 3　0.1 秒間点灯、0.1 秒間消灯を 30 秒間交互に繰り返します。
※ 4　10 回点滅、0.5 秒間消灯を 20 回繰り返します。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。続いてプリンタドライバをインストールします。**

**「プリンタドライバをインストールする（Windows®）」**P.3-54 **または「プリンタドライバをインストールする（Macintosh®）」**P.3-57 **へ進んでください。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## プリンタドライバをインストールする（Windows®）



プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

**1 パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**2 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

**3 ［HL-2170W］をクリックします。**

**4 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**




**5 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**



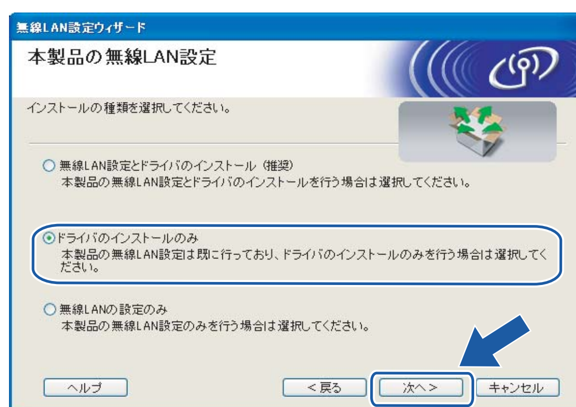

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録



Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［許可］をクリックします。

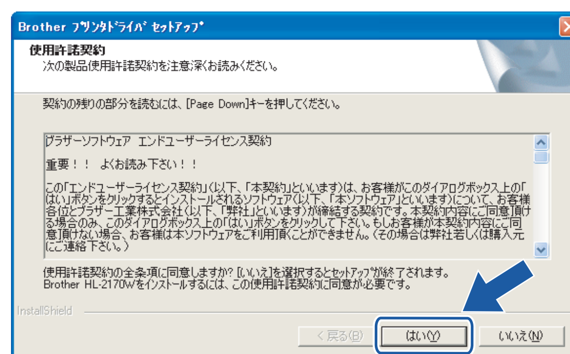



## 6 「ドライバのインストールのみ」を選択し、［次へ］をクリックします。

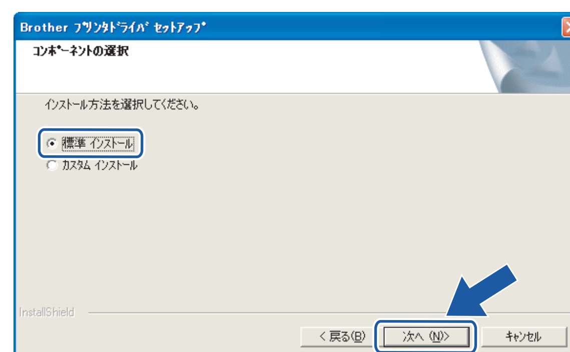



## 7 プリンタドライバのインストールが開始され、使用許諾契約画面が表示されます。

使用許諾契約の内容をよくお読みなり、［はい］をクリックします。

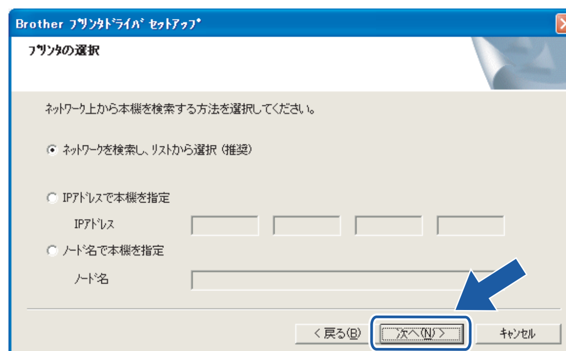



## 8 「標準インストール」を選択し、［次へ］をクリックします。



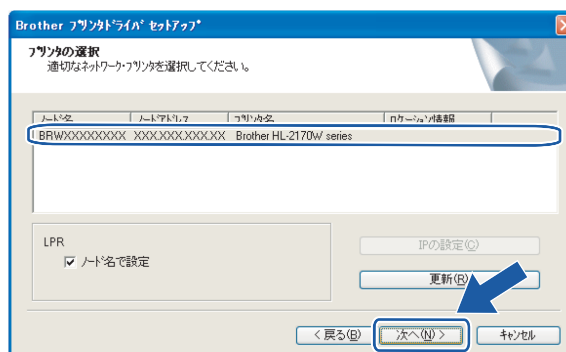

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 9 「ネットワークを検索し、リストから選択（推奨）」を選択するか、本製品のIPアドレスかノード名を入力し、［次へ］をクリックします。




メモ
プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

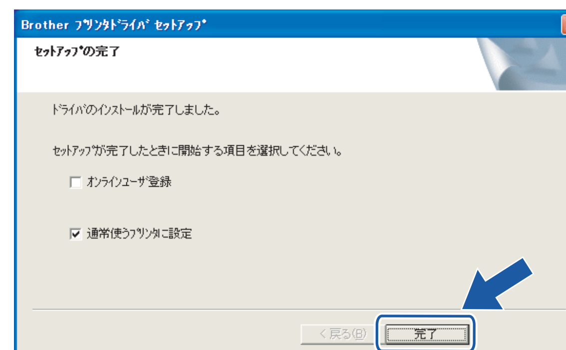
## 10 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。





1 分以上経過しても本製品が一覧に表示されない場合は、［再検索］をクリックします。それでも本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットしP.2-4 、無線 LAN 設定をやり直してください。

## 11 ［完了］をクリックします。




メモ
- 本製品をオンラインでユーザー登録する場合は、「オンラインユーザ登録」チェックボックスをチェックしてください。
- 本製品を通常使用するプリンタに設定しない場合は、「通常使うプリンタに設定」チェックボックスのチェックを外します。

## プリンタドライバをインストールする（Macintosh®）



プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

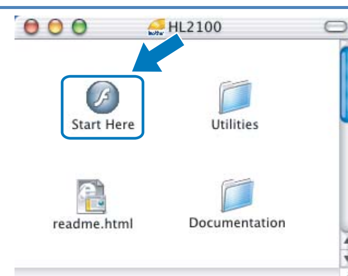
**1　Macintosh® の電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログインします。

**2　本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。**

**3　［HL2100］アイコンをダブルクリックします。**

**［Start Here］アイコンをダブルクリックします。**




**4　［HL-2170W］をクリックします。**

**5　［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**




**6　［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**



## 7 「ドライバのインストールのみ」を選択し、[次へ] をクリックします。

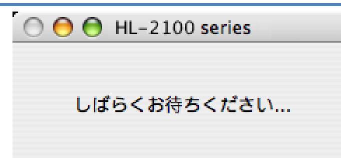



## 8 プリンタドライバのインストールが開始されます。

**画面の指示に従って、Macintosh® を再起動します。**

- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 11 に進んでください。
- Mac OS® X 10.3 以降の場合は、手順 9 に進んでください。

## 9 右の画面が表示され、本製品が検索されます。







- 複数のプリンタが利用可能な場合は、次の一覧が表示されます。本製品を選択し、[OK] をクリックします。



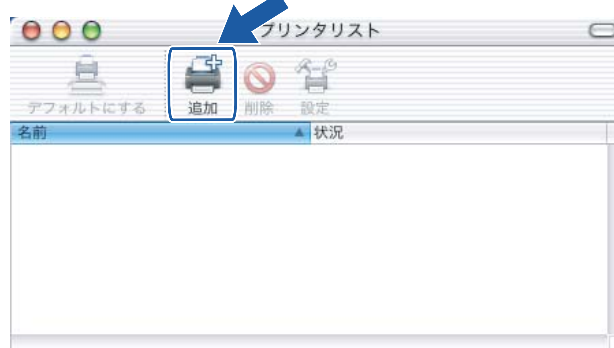

- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

## 10 右の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。




**OK! Mac OS® X 10.3 以降の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

## 11 右の画面が表示されたら、[追加] をクリックします。




## 12 右の画面の通りに選択します。




## 13 本製品を選択し、[追加] をクリックします。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

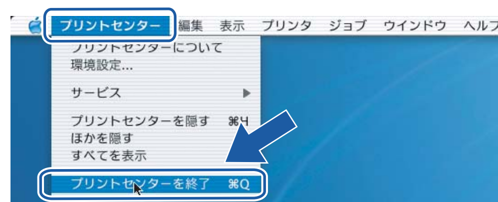


一覧に本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットしP.2-4、無線 LAN 設定をやり直してください。



- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

**14 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] をクリックします。**






**Mac OS® X 10.2.4～10.2.8の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式を使用する

## 概要

無線 LAN アクセスポイントが Wi-Fi Protected Setup™（PIN ※ 1 方式）に対応している場合は、PIN 方式を利用して簡単に本製品の無線 LAN 設定ができます。PIN（暗証番号）方式とは、Wi-Fi アライアンスが開発した接続方法のひとつです。登録者（本製品）が作成する PIN をレジストラ（無線 LAN の登録管理機器）に入力すれば、無線 LAN 設定およびセキュリティ設定が行われます。無線 LAN アクセスポイントの Wi-Fi Protected Setup™ の操作手順については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※ 1　Personal Identification Number




Wi-Fi Protected Setup™ に対応している無線 LAN アクセスポイントには、次のマークが示されています。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 無線 LAN 設定をする

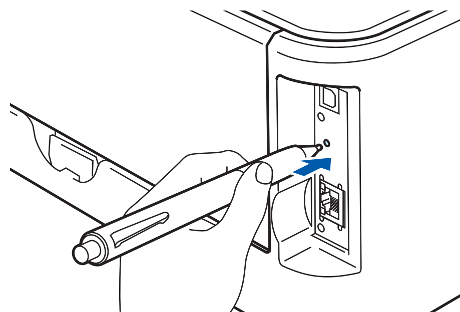


**無線 LAN 設定をはじめる前に**
本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

**1** **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

**2** **本製品の電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**

**3** **本体背面の無線設定ボタンを 3 秒以上押します。**





ボールペンなど先が尖った物で無線設定ボタンを押してください。

**4** **本製品が Wi-Fi Protected Setup™ の PIN 方式に切り替わり、8 桁の PIN（暗証番号）が印刷され、Wi-Fi Protected Setup™（PIN 方式）に対応している無線 LAN アクセスポイントを 5 分間自動検出します。**

**5** **無線 LAN アクセスポイントと同じネットワーク上にあるパソコンからウェブブラウザを起動します。**

**ウェブブラウザの入力欄に http://access_point_ip_address/ を入力します。**

（access_point_ip_address は、レジストラ※1 として使用される機器の IP アドレスです。）
※ 1　通常は無線 LAN アクセスポイントがレジストラです。

**6** **WPS（Wi-Fi Protected Setup™）設定ページへ進んみ、手順 4 で印刷されたページの PIN をレジストラに入力し、画面上の指示に従って操作します。**



WPS（Wi-Fi Protected Setup™）設定ページは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーによって異なります。詳細は、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。



Windows Vista® のパソコンをレジストラとして使用する場合は、あらかじめネットワークに登録しておく必要があります。詳細は、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

① ［スタート］ － ［ネットワーク］の順にクリックします。
② ［無線デバイスを追加します］をクリックします。
③ 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
④ 印刷されたページの PIN を入力し、［次へ］をクリックします。
⑤ 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
⑥ ［閉じる］をクリックします。



## （Ready ランプ）が点灯するまで待ちます。

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、（Ready ランプ）が 5 分間点灯します。
これで本製品を無線 LAN で使用できます。

- ランプが接続失敗を示す場合（下記参照）は、本製品は無線 LAN アクセスポイントに正常に接続されていません。手順 1 からやり直してください。やり直してもランプ表示が同じようになる場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし P.2-4 、手順 1 からやり直してください。

### 簡単設定モードを使用したときのランプ表示

| ランプ | 無線 LAN アクセスポイント検索中またはアクセス中※1 | 接続中または無線 LAN アクセスポイントから設定をダウンロード中※1 | 接続成功 ※2 | 接続失敗 ※3 |
|---|---|---|---|---|
| Toner（黄） | | | | |
| Drum（黄） | | | | |
| Error（赤） | | | | |
| Ready（青） | | | | |

※ 1　0.2 秒間点灯、0.1 秒間消灯を交互に繰り返します。
※ 2　5 分間点灯します。
※ 3　0.1 秒間点灯、0.1 秒間消灯を 30 秒間交互に繰り返します。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。続いてプリンタドライバをインストールします。**

**「プリンタドライバをインストールする（Windows®）」P.3-64 または「プリンタドライバをインストールする（Macintosh®）」P.3-67 へ進んでください。**

## プリンタドライバをインストールする（Windows®）



プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

**1 パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**2 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

**3 ［HL-2170W］をクリックします。**

**4 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**

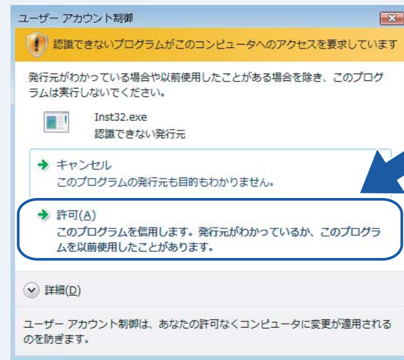



**5 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**

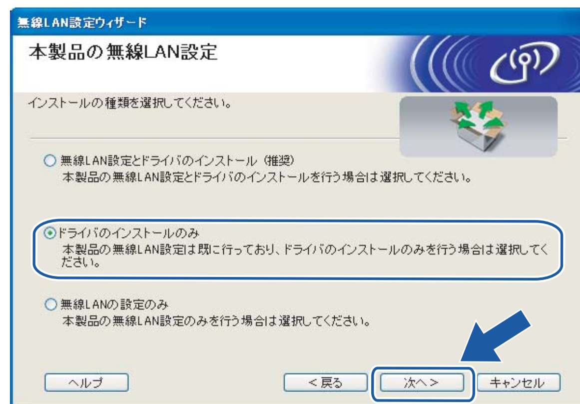




Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、[許可] をクリックします。

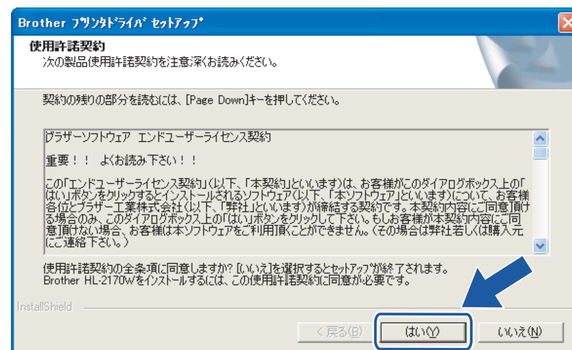


6 「ドライバのインストールのみ」を選択し、[次へ] をクリックします。

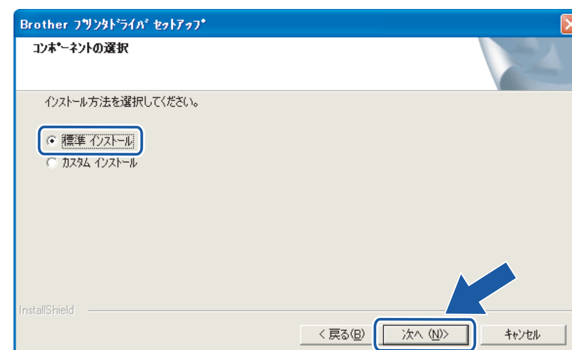


7 プリンタドライバのインストールが開始され、使用許諾契約画面が表示されます。

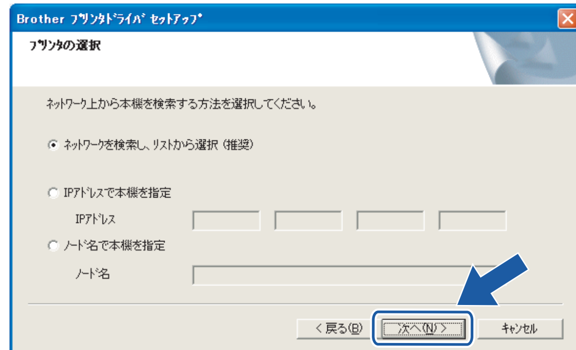
使用許諾契約の内容をよくお読みなり、[はい] をクリックします。



8 「標準インストール」を選択し、[次へ] をクリックします。

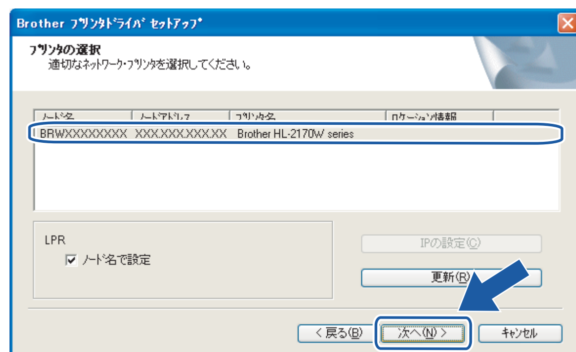


**9** 「ネットワークを検索し、リストから選択（推奨）」を選択するか、本製品の IP アドレスかノード名を入力し、［次へ］をクリックします。




メモ　プリンタ設定一覧を印刷して本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

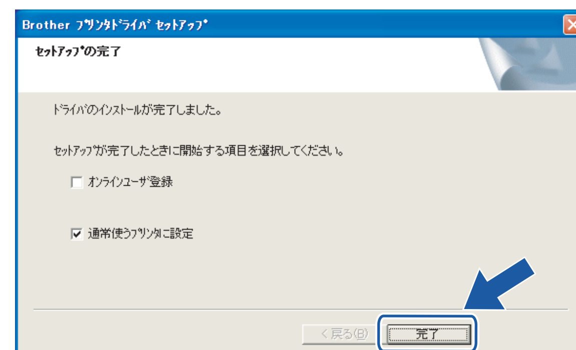
**10** 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。





1 分以上経過しても本製品が一覧に表示されない場合は、［再検索］をクリックします。それでも本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットし P.2-4 、無線 LAN 設定をやり直してください。

**11** ［完了］をクリックします。




メモ
- 本製品をオンラインでユーザー登録する場合は、「オンラインユーザ登録」チェックボックスをチェックしてください。
- 本製品を通常使用するプリンタに設定しない場合は、「通常使うプリンタに設定」チェックボックスのチェックを外します。

## プリンタドライバをインストールする（Macintosh®）



プリンタドライバのインストール中は、絶対に無線 LAN 設定の画面を終了しないでください。
無線 LAN 設定に失敗すると、プリンタドライバのインストール中にエラーメッセージが表示され、インストールが終了します。万一失敗した場合は、各無線 LAN 設定の手順 1 に戻って、はじめからやり直してください。

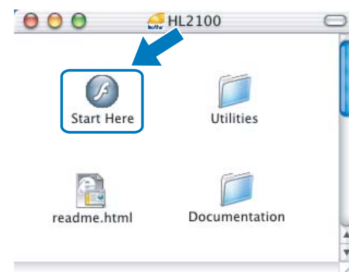
**1 Macintosh® の電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログインします。

**2 本製品に付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットします。**

**3 [HL2100] アイコンをダブルクリックします。**

**[Start Here] アイコンをダブルクリックします。**




**4 [HL-2170W] をクリックします。**

**5 [プリンタドライバのインストール] をクリックします。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

**6** **［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**




**7** **「ドライバのインストールのみ」を選択し、［次へ］をクリックします。**

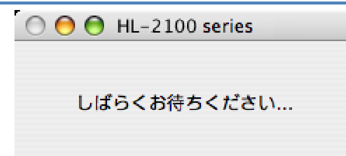



**8** **プリンタドライバのインストールが開始されます。**

**画面の指示に従って、Macintosh® を再起動します。**

- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 11 に進んでください。
- Mac OS® X 10.3 以降の場合は、手順 9 に進んでください。

**9** **右の画面が表示され、本製品が検索されます。**






- 複数のプリンタが利用可能な場合は、次の一覧が表示されます。本製品を選択し、[OK] をクリックします。



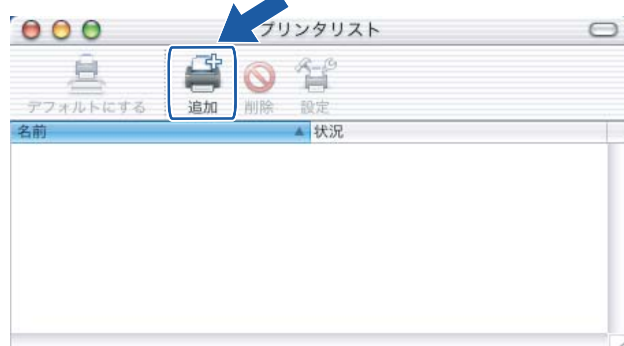

- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

## 10 右の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。




**OK! Mac OS® X 10.3 以降の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

## 11 右の画面が表示されたら、[追加] をクリックします。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 12 右の画面の通りに選択します。




## 13 本製品を選択し、[追加] をクリックします。



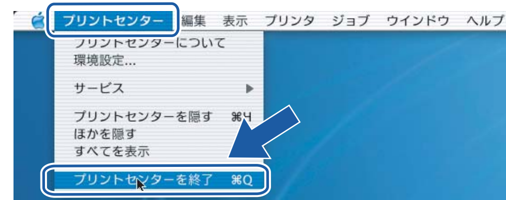



一覧に本製品が表示されないときは、ネットワーク設定をリセットしP.2-4 、無線 LAN 設定をやり直してください。




- ネットワーク上に同じモデルが複数接続されている場合は、モデル名の末尾に MAC アドレス（イーサネットアドレス）が表示されます。
- プリンタ設定一覧を印刷して本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。詳細は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

## 14 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] をクリックします。




OK! **Mac OS® X 10.2.4～10.2.8の場合は、プリンタドライバのインストールは完了しました。**

# 第 4 章

# ネットワーク印刷機能

# ネットワークプリンタとして使う（Windows®）

## LPR で印刷する

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。ブラザーインストーラを使わずにプリンタドライバのみインストールする場合は、以下の手順で設定してください。
Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® は、標準でインストールされている TCP/IP というプロトコルを使用して、本製品をネットワーク上で利用できます。

### ● プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

### ● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

## プリンタドライバをまだインストールしていない場合

「プリンタの追加ウィザード」で本製品へのポートの追加とプリンタドライバのインストールを行います。
すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがすでにインストールされている場合」P.4-10 を参照してください。




- この章の内容を操作する前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。詳細については、「第 2 章 ネットワークの設定」を参照してください。
- ブラザープリントサーバのお買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。
- プリントサーバのドメイン名のお買い上げ時の設定は、“workgroup”です。変更するには、ウェブブラウザまたは BRAdmin Professional を使用してください。
- “ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか”、または“ルータが 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか”のどちらかを確認してください。

### Windows Vista® の場合



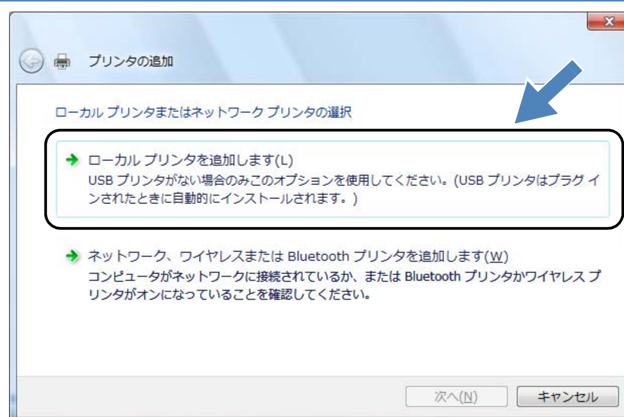
**［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。**



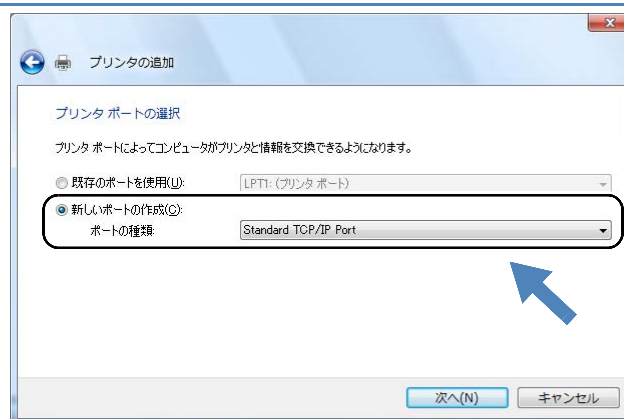
**［プリンタのインストール］をクリックします。**

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

## 3 [ローカルプリンタを追加します] をクリックします。




## 4 「新しいポートの作成」を選択し、「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択します。

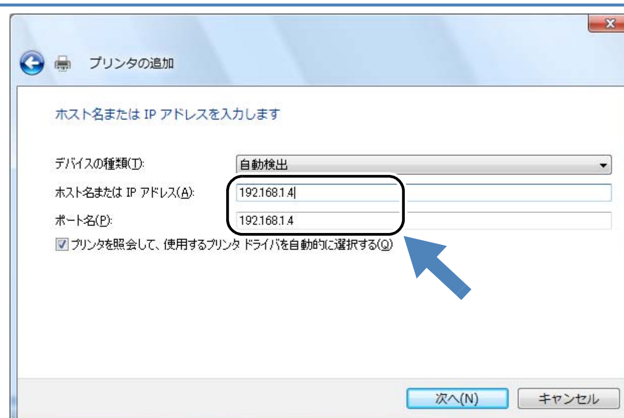



## 5 [次へ] をクリックします。

## 6 本製品の「ホスト名または IP アドレス」を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例）　192.168.1.4 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［192.168.1.4］が入力されます。



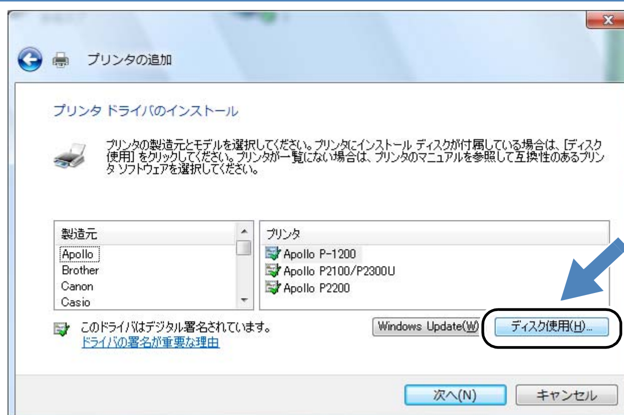

メモ

本製品の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをおすすめします。本製品のノード名は、BRAdmin Light P.2-6 またはプリンタ設定一覧 P.2-5 で確認できます。

## 7 [次へ] をクリックします。

入力したプリンタ名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

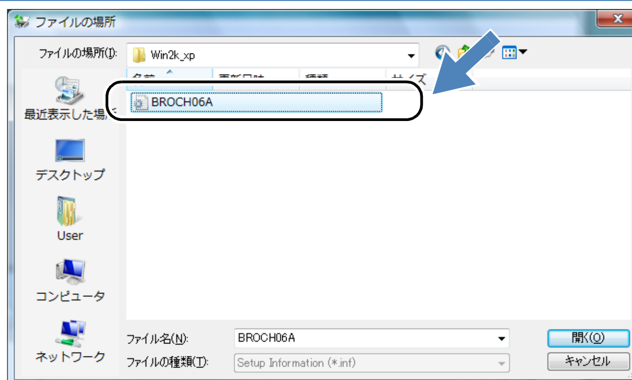
**8** **[ディスク使用] をクリックします。**



**9** **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。**

**10** **「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択します。**

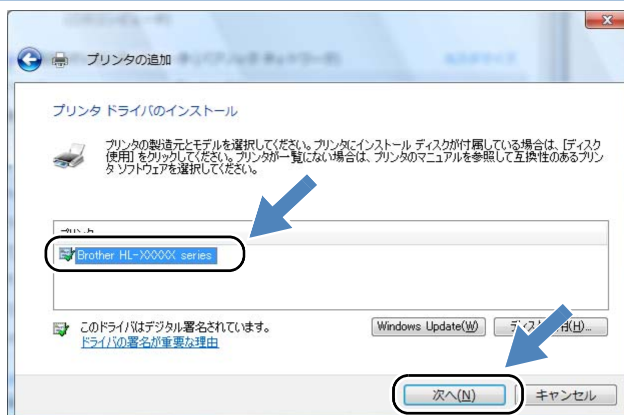
X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
（X は CD-ROM ドライブ）



**11** **[開く] をクリックします。**

**12** **[OK] をクリックします。**

**13** **プリンタのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。**

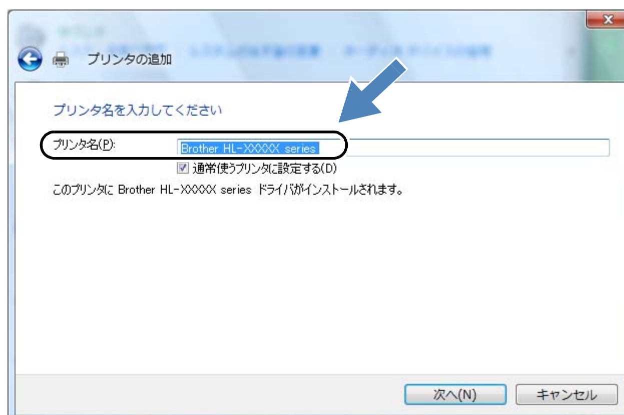




- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

**14 必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。**

例） ブラザーネットワークプリンタ




**15 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。**



- 「ユーザアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。
- 「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」という警告メッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックし、インストールを続けます。

**16 テストページを印刷する場合は、[テストページの印刷] をクリックします。**

正しく印刷されたか確認し、[閉じる] をクリックしてください。

**17 [完了] をクリックします。**

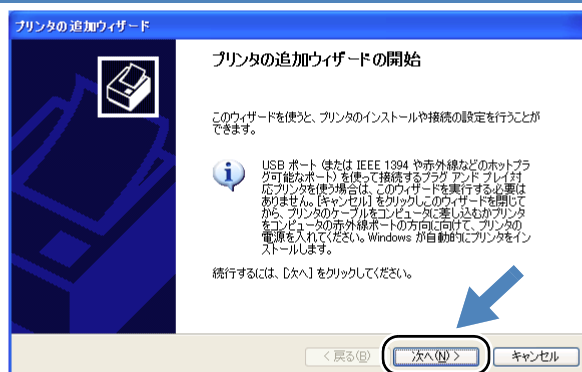
## Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 の場合

**1** **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択し、「プリンタのインストール」をクリックします。**

- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

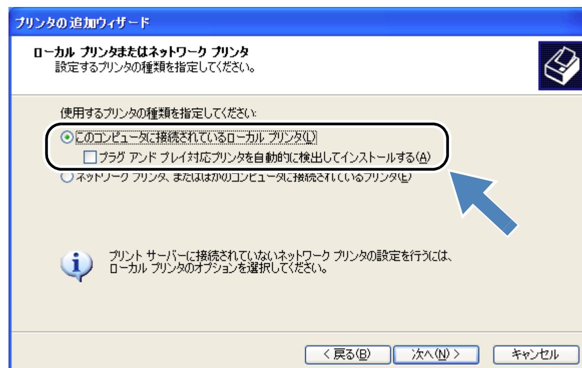
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

**2** **［次へ］をクリックします。**



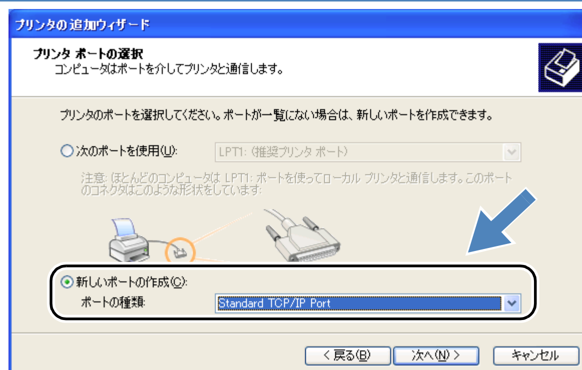

**3** **「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを外します。**

- Windows® 2000 の場合は、「ローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを外します。




**4** **［次へ］をクリックします。**

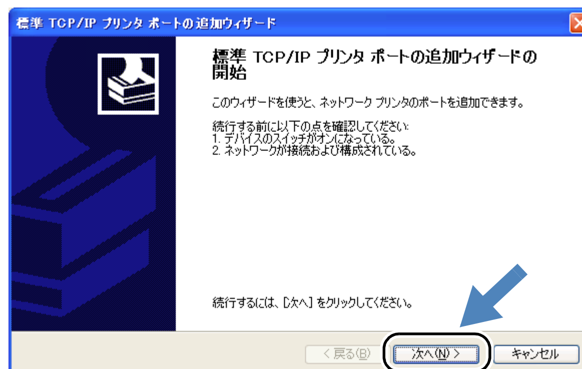
**5** **「新しいポートの作成」をクリックし、「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選びます。**



## 6 ［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

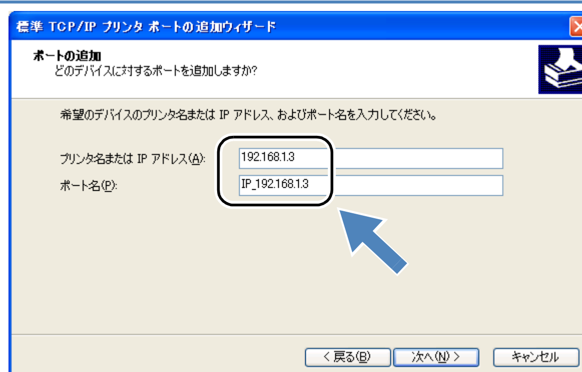
## 7 ［次へ］をクリックします。




## 8 本製品の「プリンタ名または IP アドレス」を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例）　192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.1.3］が入力されます。







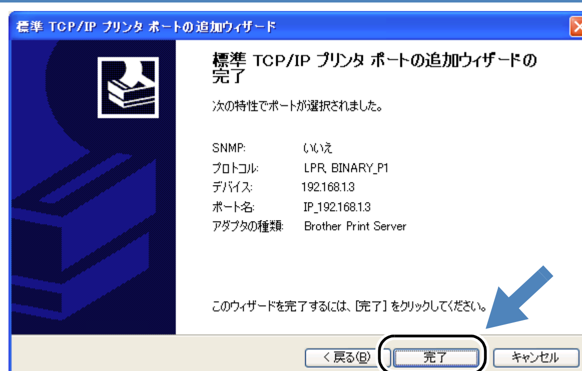
本製品の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本製品のノード名は、BRAdmin Light P.2-6 またはプリンタ設定一覧 P.2-5 で確認できます。

## 9 ［次へ］をクリックします。

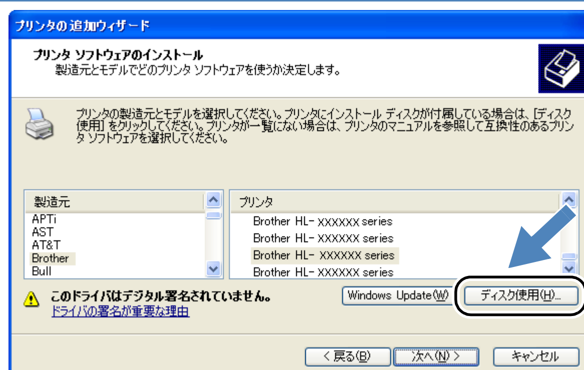
入力したプリンタ名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

## 10 ［完了］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。



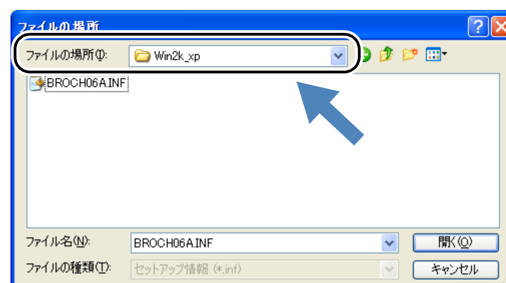
**11** [ディスク使用] をクリックします。



**12** 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

**13** 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択します。

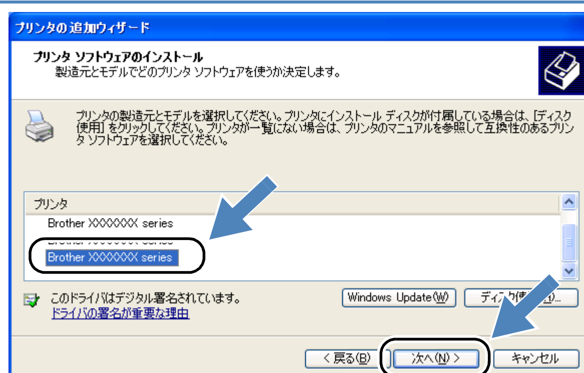
X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
(X は CD-ROM ドライブ)



**14** [開く] をクリックします。

**15** [OK] をクリックします。

**16** プリンタのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。

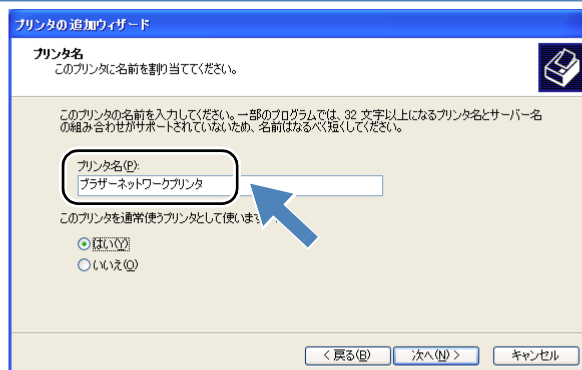


メモ

- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

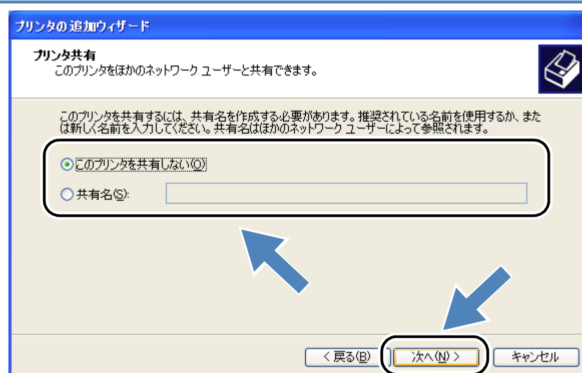
## 17 必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。

例）　ブラザーネットワークプリンタ



## 18 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

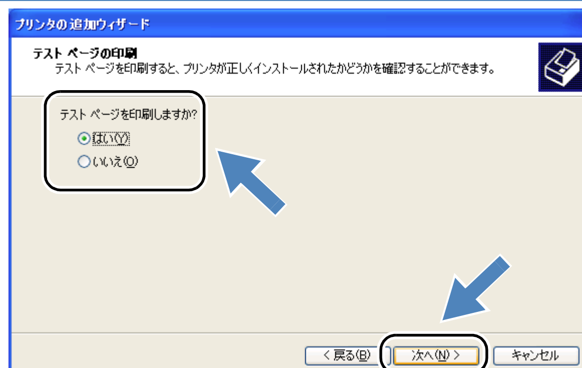
## 19 「プリンタ共有」の画面が表示された場合は、本製品を共有するかどうかを選択し、共有する場合は「共有名」を入力して、[次へ]をクリックします。



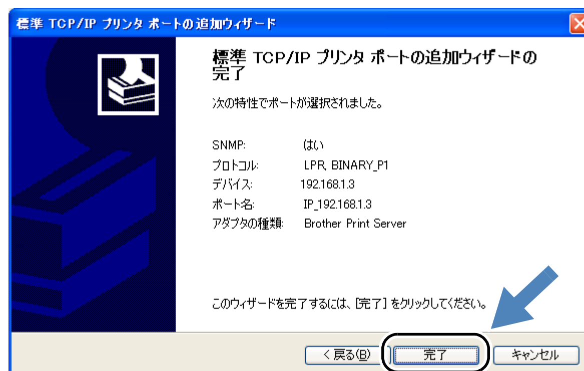
メモ　共有した場合は、必要に応じて「場所」と「コメント」を入力して、[次へ]をクリックします。

## 20 テストページを印刷するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選んだ場合は、あとでテスト印刷を行い、正しく印刷されるか確認してください。



**21** **［完了］をクリックします。**




## プリンタドライバがすでにインストールされている場合

以下の手順でポートの追加と本製品の関連付けをします。

### Windows Vista® の場合

**1** **［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。**

**2** **「Brother HL-2170W series」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

**3** **［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。**

**4** **［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。**

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

**5** **［次へ］をクリックします。**

**6** **本製品の「ホスト名または IP アドレス」を入力します。**

「ポート名」は自動的に入力されます。

例） 192.168.1.4 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［192.168.1.4］が入力されます。

**7** **［次へ］をクリックします。**

入力したプリンタ名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。
正しい内容を入力し直してください。

**8** **［完了］をクリックします。**

**9** **「プリンタポート」ダイアログボックスおよび本製品のプロパティ画面を閉じます。**

## Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 の場合

**1** **Windows® XP および Windows Server® 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。**

**Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。**

**2** **「Brother HL-2170W series」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

**3** **［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。**

**4** **［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。**

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

**5** **「プリンタドライバをまだインストールしていない場合」の「Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 の場合」の手順 7 ～ 10** P.4-7 **を実行します。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# ネットワークプリンタとして使う（Macintosh®）

## 概要

本製品は Mac OS® X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。
簡易ネットワーク設定機能を使う前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めてください。自動的にネットワークの設定が完了します。IP アドレスや本製品のネットワーク構成を手動で設定する必要はありません。

## Macintosh® プリンタドライバを使う

Macintosh® プリンタドライバを使用する場合は、次の手順でプリンタドライバを選択します。

**1 本製品の電源スイッチを ON にします。**

**2 ［移動］メニューから［アプリケーション］を選択します。**

**3 「ユーティリティ」をクリックします。**

**4 「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。**

（Mac OS® X 10.2 の場合は「プリントセンター」）

**5 ［追加］をクリックします。**

- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.3.x の場合は、手順 6 に進んでください。
- Mac OS® X 10.3 以降の場合は、手順 7 に進んでください。

**6 右の画面の通りに選択します。**




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 7 本製品を選択し、[追加] をクリックします。

本製品が利用できるようになります。

MAC OS® X 10.2.x の場合




MAC OS® X 10.3.x の場合




MAC OS® X 10.4.x の場合



# 第 5 章
# インターネット印刷機能

# インターネット印刷機能を設定する

## 概要

Windows® が標準サポートしている TCP/IP と IPP プロトコルを使用してインターネット印刷をすることができます。

Windows® のインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。



- この章の内容を操作する前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。詳細については、「第 2 章 ネットワークの設定」を参照してください。
- “ホストコンピュータとプリントサーバが同じサブネット上にあるか” または “ルータが 2 つのデバイス間でデータを渡すように正しく設定されているか” のどちらかを検証してください。
- お買い上げ時のユーザ名は “admin” で、パスワードは “access” に設定されています。

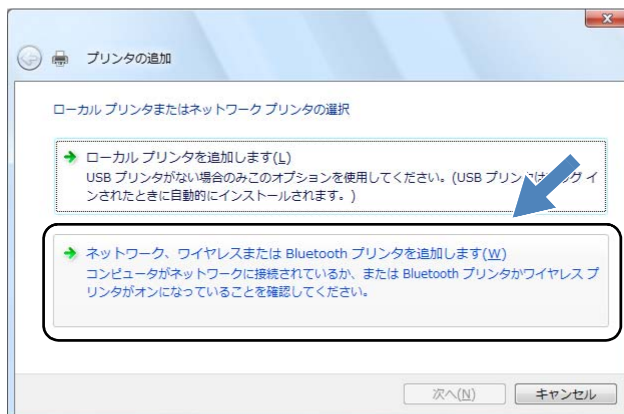
## Windows Vista® の場合

**1** **［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。**

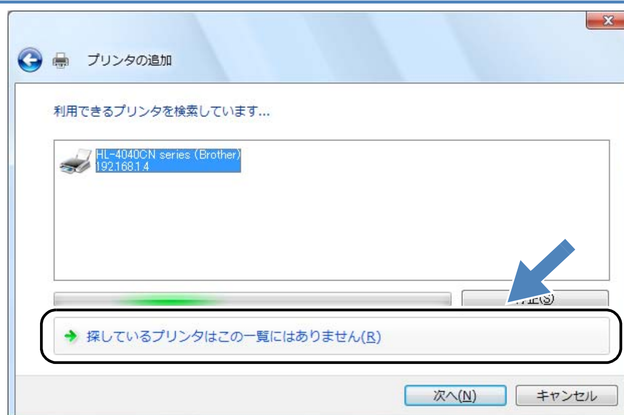
**2** **［プリンタのインストール］をクリックします。**

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

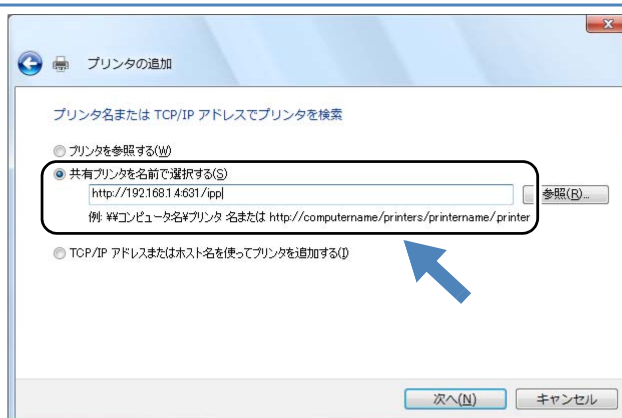
**3** **［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。**




**4** **［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。**



## 5 ［共有プリンタを名前で選択する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。




http://printer_ip_address:631/ipp

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。
例）プリンタの IP アドレスが 192.168.1.4 の場合
http://192.168.1.4:631/ipp



hosts ファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本製品の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンタ設定一覧 P.2-5 に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、有線ネットワークの場合は "BRNxxxxxxxxxxxx"、無線ネットワークの場合は "BRWxxxxxxxxxxxx" です。

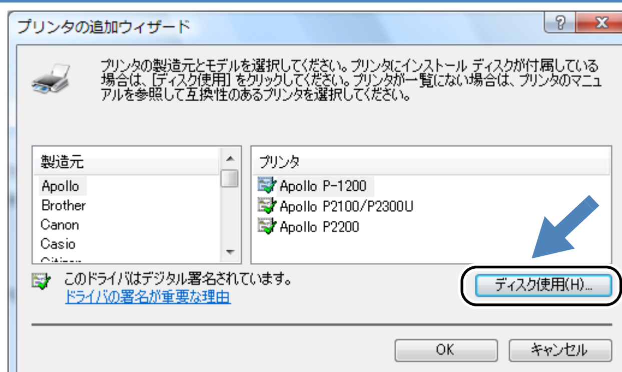
## 6 ［次へ］をクリックします。

指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがパソコンにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  すでにインストールされているプリンタドライバを使用するかどうかを選択し［OK］をクリックします。
  手順 12 に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類を Windows Vista® に対して指定する必要はありません。
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順 7 に進んでください。

## 7 ［ディスク使用］をクリックします。

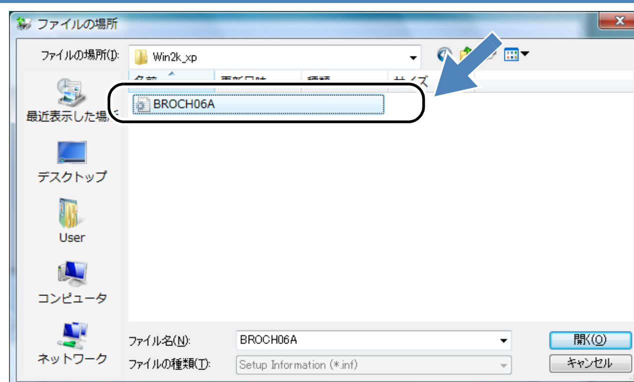



はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 8 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

## 9 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択します。

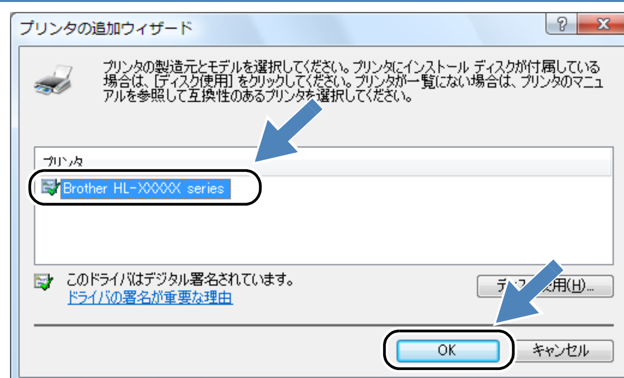
X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
（X は CD-ROM ドライブ）




## 10 [開く] をクリックします。

## 11 [OK] をクリックします。

## 12 プリンタのリストから本製品を選択し、[OK] をクリックします。




メモ

- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 13 ［次へ］をクリックします。



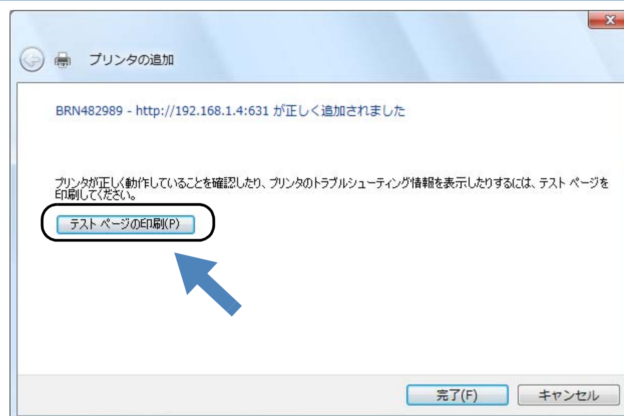

## 14 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。



- ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。
- 「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」という警告メッセージが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックし、インストールを続けます。

## 15 テストページを印刷する場合は、［テストページの印刷］をクリックします。

正しく印刷されたか確認し、［閉じる］をクリックしてください。




## 16 ［完了］をクリックします。

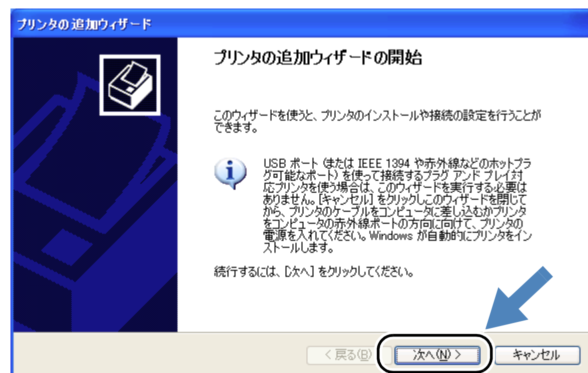
はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択し、「プリンタのインストール」をクリックします。

- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

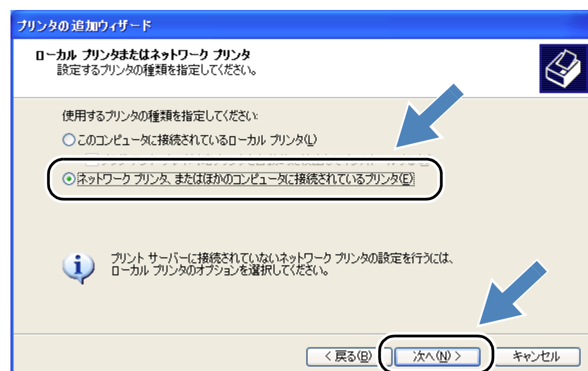
## 2 ［次へ］をクリックします。




## 3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

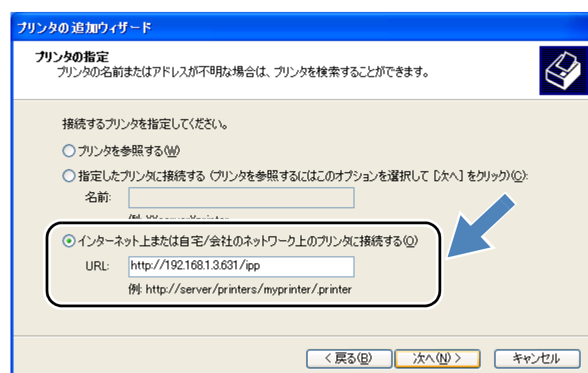
- Windows® 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。




## 4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。

- Windows® 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。




http://printer_ip_address:631/ipp

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。

例） プリンタの IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
http://192.168.1.3:631/ipp

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録



hosts ファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本製品の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンタ設定一覧 P.2-5 に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、有線ネットワークの場合は "BRNxxxxxxxxxxxx"、無線ネットワークの場合は "BRWxxxxxxxxxxxx" です。

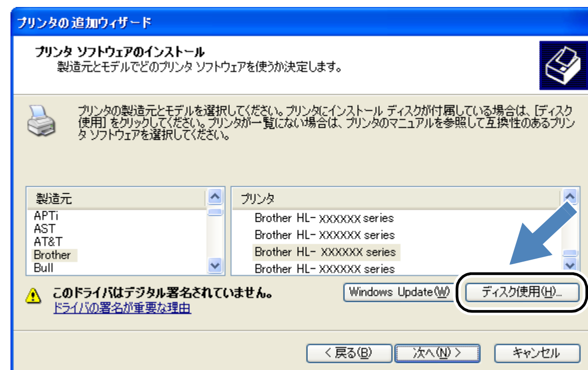
## 5 [次へ] をクリックします。

指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがパソコンにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  すでにインストールされているプリンタドライバを使用するかどうかを選択し [次へ] をクリックします。
  手順 11 に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類を Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 に対して指定する必要はありません。
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順 6 に進んでください。

## 6 [ディスク使用] をクリックします。

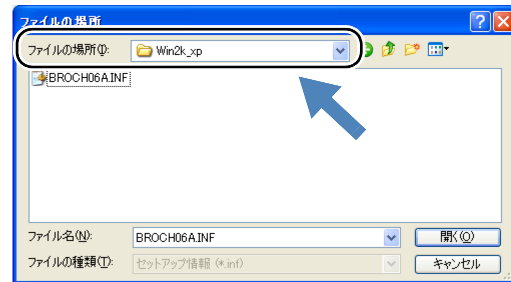



## 7 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 8 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択します。

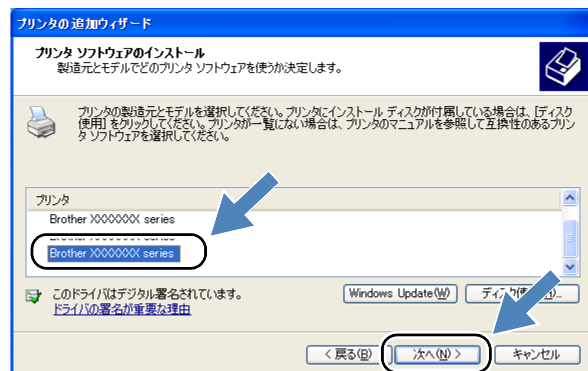
X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
（X は CD-ROM ドライブ）




## 9 ［開く］をクリックします。

## 10 ［OK］をクリックします。

## 11 プリンタのリストから本製品を選択し、［次へ］をクリックします。



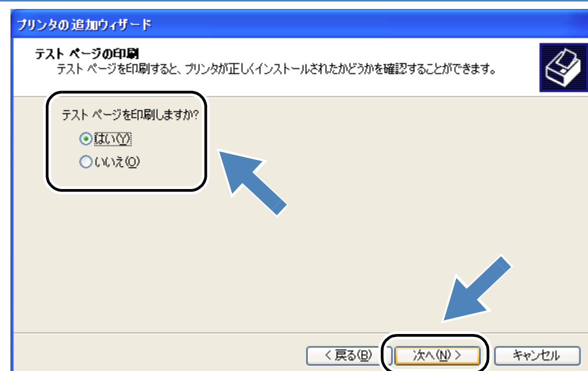



- パソコンがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。

## 12 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

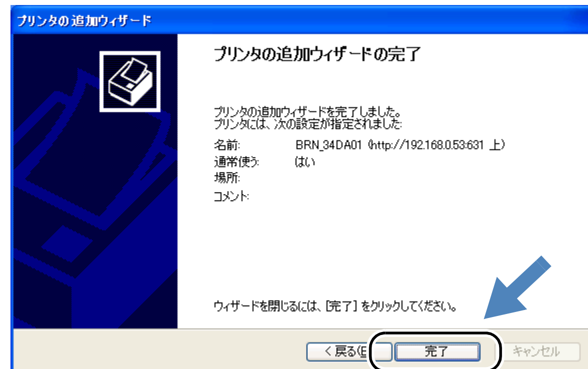
## 13 テストページを印刷するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選んだ場合は、あとでテスト印刷を行い、正しく印刷されるか確認してください。



## 14 [完了] をクリックします。

これで、Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003 のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このパソコンを経由してインターネット印刷ができます。



# 別の URL を指定する

URL 欄には、下記の入力が可能です。




「詳細」タブをクリックしてもプリンタのデータは表示されません。

**http://printer_ip_address:631/ipp**
推奨 URL です。

**http://printer_ip_address:631/ipp/port1**
HPJetdirect 互換の URL です。

**http://printer_ip_address:631/**
URL の詳細を忘れた場合は、上記のテキストだけでもプリンタに受け付けられ、データが処理されます。

［printer_ip_address］は、ご使用になるプリンタの IP アドレスまたはノード名を入力します。

# 第 6 章
# セキュリティの設定

# セキュリティを設定する

## 概要

この章では、本製品がサポートしているセキュリティの設定方法について説明しています。
また、BRAdmin Professional を使って本製品を安全に管理するために従っていただきたいことについても記載しています。（Windows® のみ）

### E メール通知によるセキュリティについて

ブラザープリントサーバは、以下の E メール通知のセキュリティに対応しています。

#### POP before SMTP（PbS）

クライアントから E メールを送信する際のユーザー認証方法です。クライアントは、E メールを送信する前に POP3 サーバにアクセスすることによって、SMTP サーバを使用する許可を得ます。

#### SMTP-AUTH（SMTP 認証）

クライアントから E メールを送信する際のユーザー認証方法です。SMTP-AUTH は、SMTP（インターネット E メール送信プロトコル）を拡張し、送信者の身元を確認する認証方法を取り入れたものです。

#### APOP

APOP は、POP3（インターネット受信プロトコル）を拡張し、クライアントが E メールを受信するときに用いるパスワードを暗号化する認証方法を取り入れたものです。

# ユーザー認証付 E メール通知を使用する

ユーザー認証を必要とする SMTP サーバを経由して、E メール通知機能を使用するには、「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」の認証方法を使用する必要があります。これらの方法は、無許可のユーザーがメールサーバに不正アクセスするのを防ぐものです。ウェブブラウザおよび BRAdmin Professional を使用して設定することができます。




POP3/SMTP 認証の設定を E メールサーバのいずれかに合わせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ウェブブラウザを使って POP3/SMTP を設定するときは、次の手順に従ってください。

**1 ウェブブラウザを起動します。**

**2 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address を入力します。**

（[ip_address］はご使用になるプリンタの IP アドレス）

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ブラウザに http://192.168.1.3 を入力します。




hosts ファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本製品の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンタ設定一覧P.2-5 に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、有線ネットワークの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線ネットワークの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

**3 ［ネットワーク設定］をクリックします。**

**4 ［ユーザ名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。**

お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

**5 ［プロトコル設定］をクリックします。**

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

6 ［POP3/SMTP　詳細設定］をクリックし、POP3/SMTP の設定を変更します。



メモ

- ウェブブラウザを使用することで SMTP ポート番号を変更することができます。この機能は、インターネットサービスプロバイダが「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）」を導入している場合に役に立ちます。プロバイダが指定した SMTP ポート番号を特定の番号（例：587 ポート）に変更することで、使用する SMTP サーバでメールを送信することができます。
  また、SMTP サーバの認証を可能にするために「送信メールサーバ（SMTP）認証方式」の「SMTP-AUTH」を選択してください。
- 「POP before SMTP」と「SMTP-AUTH」の両方を使える場合は、「SMTP-AUTH」を選択することをおすすめします。
- 「送信メールサーバ（SMTP）認証方式」を「POP before SMTP」に設定すると、「受信メールサーバ（POP3）」の設定が必要となります。また、「APOP を使用」をチェックして、APOP 方式を使用することもできます。
- 詳細については、ウェブブラウザのヘルプ を参照してください。
- 設定後にテストメールを送信し、E メール設定が正しいことを確認してください。

7 設定を変更した場合は、［OK］をクリックします。

テストメール送信設定画面が表示されます。

8 現在の設定をテストしたい場合は、画面上の指示に従ってください。

# BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows® のみ）

BRAdmin Professional を使ってネットワークプリンタを安全に管理するには、次の点に従ってください。

- BRAdmin Professional の最新バージョンをご使用されることをおすすめします。
  BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）からダウンロードできます。旧バージョンの BRAdmin Professional を使ってブラザー機器を管理すると、ユーザー認証においてセキュリティ上安全ではありません。
- 旧バージョン※1 のBRAdminからご使用のプリンタへアクセスすることを避けたい場合は、ウェブブラウザを使って「プロトコル設定」画面の「SNMP 詳細設定」から、旧バージョン※1 の BRAdmin からのアクセスを無効にする必要があります。
- Telnet、FTP、TFTP を無効にしてください。これらのプロトコルを使って機器にアクセスすると、セキュリティ上安全ではありません。
- 従来のプリントサーバ※2 と本製品のプリントサーバ（NC-6600h または NC-7400w）が混在したグループを BRAdmin Professional で管理する場合は、グループごとに異なるパスワードを使うことをおすすめします。

※1　Ver. 2.80 以前の BRAdmin Professional、Ver. 1.10 以前の Macintosh® 用 BRAdmin Light

※2　NC-2000 シリーズ、NC-2100p、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、CN-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w、NC-2200w

# 第 7 章
# こんなときは

# トラブルシューティング

## 概要

本製品を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。
問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
（**http://solutions.brother.co.jp/**）を参照してください。

問題の種類を以下の 5 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- 一般的な問題 P.7-2
- 接続と設定の問題 P.7-3
- 印刷の問題 P.7-5
- プロトコル固有の問題 P.7-6
- ファイアウォールの問題 P.7-8
- 無線 LAN の問題 P.7-12
- その他の問題 P.7-14

## 一般的な問題

### CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない（Windows® のみ）

ご使用のパソコンが自動起動に対応していないと、CD-ROM を挿入した後にメニューが自動的に表示されません。この場合は、［マイコンピュータ※ 1］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、画面を表示させてください。

※ 1　Windows Vista® の場合は［コンピュータ］です。

### 本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法

「ネットワーク設定をリセットする」を実行します。P.2-4

# 接続と設定の問題

## ネットワークの接続と設定を確認する（有線 LAN 使用時のみ）

ネットワークプリントソフトウェアのセットアップ中、またはブラザープリンタドライバのインストールで、ブラザープリントサーバーが見つからない場合は、以下の手順で確認します。

### 1 本製品の電源スイッチが ON で、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

### 2 ネットワーク LED の表示をチェックします。

ネットワークインターフェースには本製品の背面に 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
下の緑色の Link/Activity LED は、ネットワーク接続（データ送受信）の状態を示します。
上のオレンジ色の Speed LED は、アクセス速度を示します。

- 下の LED が消灯
  Link/Activity LED が消灯しているときはネットワークインターフェースが有線 LAN に接続されていないことを示します。
- 下の LED が緑色に点灯
  Link/Activity LED が緑色に点灯しているときは、ネットワークインターフェースが有線 LAN に接続されていることを示します。
- 上の LED がオレンジ色に点灯
  Speed LEDがオレンジ色に点灯しているときは、100BASE-TXで有線LANに接続されています。
- 上の LED が消灯
  Speed LED が消灯しているときは、10BASE-T で有線 LAN に接続されています。

### 3 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- 本製品に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。
  プリンタ設定一覧を印刷して、IP アドレスを調べることができます。「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。

### 4 プリンタ設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

**● TCP/IP を使用している Windows® の場合**

パソコンから次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

**ping ipaddress**

ipaddress は本製品の IP アドレスです。
本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.7-6 の各トラブルシューティングへ進みます。

  例）　**C:￥>ping 192.168.0.53**

  **Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:**

  **Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**
  **Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**
  **Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**
  **Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255**

  **Ping statistics for 192.168.0.53:**
  **Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),**
  **Approximate round trip times in milli-seconds:**
  **Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms**

- 応答が返らない場合は、「TCP/IP のトラブルシューティング」P.7-6 へ進みます。

  例）　**C:￥>ping 192.168.0.53**

  **Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:**

  **Request timed out.**
  **Request timed out.**
  **Request timed out.**
  **Request timed out.**

  **Ping statistics for 192.168.0.53:**
  **Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),**
  **Approximate round trip times in milli-seconds:**
  **Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms**

### ● TCP/IP を使用している Macintosh® の場合

①［移動］メニューから［アプリケーション］を選択します。
②「ユーティリティ」をクリックします。
③「ターミナル」をダブルクリックします。
ターミナル画面から次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

**ping ipaddress**

ipaddress は本製品の IP アドレスです。
本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

## 5 手順 1 ～ 4 までを試しても正常に動作しない場合は、本製品のネットワーク設定をリセットしP.2-4、最初から設定をやり直してください。

## 6 Windows® の場合でインストールが正しくできなかった場合は、ファイアウォールがプリンタとのネットワークに必要な接続を阻んでいる可能性があります。

**この場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしプリンタドライバを再インストールする必要があります。**

**プリンタドライバを再インストールし、正常に印刷できることを確認したら、ファイアウォールの設定を有効に戻します。**

ファイアウォールの解除の方法については、「ファイアウォールの問題」P.7-8 を参照してください。

# 印刷の問題

プリントサーバのステータスと設定を確認してください。以下の手順で確認します。

**1 本製品の電源スイッチが ON で、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。**

**2 「プリンタ設定一覧を印刷する」**P.2-5 **を印刷し、以下について確認します。**

- IP アドレスがネットワークに対して正しく設定されていることを確認します。
- IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないことを確認します。
- 本製品に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。

**3 プリンタ設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。**

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

● **TCP/IP を使用している Windows® の場合**

パソコンから次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

**ping ipaddress**

ipaddress は本製品の IP アドレスです。
本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「インターネット印刷のトラブルシューティング」P.7-7 の各トラブルシューティングへ進みます。
- 応答が返らない場合は、手順 4 へ進みます。

● **TCP/IP を使用している Macintosh® の場合**

① ［移動］メニューから［アプリケーション］を選択します。
② 「ユーティリティ」をクリックします。
③ 「ターミナル」をダブルクリックします。
ターミナル画面から次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

**ping ipaddress**

ipaddress は本製品の IP アドレスです。
本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

**4 手順 1 ～ 4 までを試しても正常に動作しない場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし**P.2-4**、最初から設定をやり直してください。**

## ● 印刷中のエラー

他のユーザーが大量のデータ（例：多量のページまたは高解像度のカラーページ）を印刷している間に印刷を実行すると、本製品は実行中の印刷が終了するまで印刷ジョブを受け付けることができません。
印刷ジョブの待ち時間を超えると、エラーメッセージを返します。このようなときは、他のユーザーのジョブが終了した後に印刷を再度実行してください。

# プロトコル固有の問題

## TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用して本製品に正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。



設定エラーによる原因をなくすため、確認の前に以下の手順を行います。
- 本製品の電源スイッチを OFF → ON します。
- 本製品の設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

### 1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

① 本製品に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。
「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を印刷し、を参照してください。

② ネットワーク上で本製品に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。
本製品のネットワークケーブル（LAN ケーブル）を外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

### 2 本製品に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本製品に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らなかったりする場合があります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static（固定）」に変更してから IP アドレスを指定してください。

### 3 TCP/IP が本製品で使用する設定になっていることを確認します。

### 4 RARP を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しい MAC アドレス（イーサネットアドレス）が記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

### 5 BOOTP を使用した場合は、BOOTP が有効になっていることを確認します。

### 6 ホストコンピュータと本製品が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# インターネット印刷のトラブルシューティング

Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® でインターネット印刷に問題がある場合は、次の項目を確認します。

## 印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows® での設定時に、次のデータを入力します。

**http://ip_address/ipp**

## Windows® での［詳細］オプションが使用できない

http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows® での［詳細］オプションは使用できません。
［詳細］オプションを使用するには、次の URL を使用してください。

**http://ip_address**

これはブラザーネットワークプリンタにポート 80 を割り当てる URL です。
Windows® とブラザーネットワークプリンタとの通信にポート 80 が使用できます。

# ウェブブラウザのトラブルシューティング

**1 ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認します。**

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
ネットワークプリンタの接続時に、毎回パソコンが ISP やプロキシサーバへの接続を試行しなくなります。

**2 使用しているウェブブラウザが適しているか確認します。**

- Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 1.0 以降、Macintosh® の場合は Safari 1.0 以降を推奨いたします。
- どのウェブブラウザの場合も、JavaScript およびクッキーを有効にして使用してください。
- Safari の場合は、JavaScript を有効にするには、1.2 以降にアップグレードすることを推奨いたします。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# ファイアウォールの問題

「インターネット接続ファイアウォール（Windows® ファイアウォール）」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IP ピアツーピア印刷：　印刷ができない場合があります。
- BRAdmin Light / Professional：　プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

## Windows Vista® の場合

### インターネット接続ファイアウォールを無効にする

**1** **［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。**

**2** **［設定の変更］をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

**3** **管理者権限のあるユーザの場合は、［続行］をクリックします。**

**管理者権限のないユーザの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

**4** **［全般］タブで「無効（推奨されません）」を選択します。**

**5** **［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。**

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。




ブラザーインストーラ、プリンタドライバなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

## インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

**1** **[スタート] メニューから [コントロールパネル] − [ネットワークとインターネット] − [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。**

**2** **[設定の変更] をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

**3** **管理者権限のあるユーザの場合は、[続行] をクリックします。**

**管理者権限のないユーザの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

**4** **[例外] タブをクリックします。**

**5** **[プログラムの追加] ボタンをクリックします。**

**6** **「プログラムの追加」ウィンドウで「BRAdmin Light」を選択します。**

**7** **「プログラムの追加」ウィンドウの左下の [スコープの変更] ボタンをクリックします。**

**8** **「スコープの変更」ウィンドウで「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ」を選択します。**

**9** **[OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。**

ローカルネットワークで複数の Windows Vista® をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows Vista® のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## Windows® XP Service Pack2 の場合

### ●インターネット接続ファイアウォールを無効にする

**1** **[スタート] メニューから [コントロールパネル] − [ネットワークとインターネット接続] − [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。**

**2** **[全般] タブが選択されている画面で、「無効（推奨されません）」を選択します。**



ブラザーインストーラ、プリンタドライバなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

### ●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

**1** **[スタート] メニューから [コントロールパネル] − [ネットワークとインターネット接続] − [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。**

**2** **[例外] タブをクリックします。**

**3** **[プログラムの追加] ボタンをクリックします。**

**4** **「プログラムの追加」ウィンドウで、「BRAdmin Light」を選択します。**

**5** **「プログラムの追加」ウィンドウの左下の [スコープの変更] ボタンをクリックします。**

**6** **「スコープの変更」ウィンドウで、「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ」を選択します。**

**7** **[OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。**

ローカルネットワークで複数の Windows® XP をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows® XP のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター ™、Norton AntiVirus™ など）でパーソナルファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows® XP と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

## 無線 LAN を有効または無効にする

必要に応じて無線 LAN の設定を有効または無効に設定します。



**ノード名**
プリンタ設定一覧にはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

1. **プリンタの電源スイッチを OFF にします。**
2. **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**
3. **プリンタの電源スイッチを ON にし、印刷可能状態になるまで待ちます。**
4. **（Go ボタン）を 10 秒間押したままの状態にし、現在のネットワーク設定を示す LAN 設定内容リストが印刷されたら、（Go ボタン）から指を離します。**

   無線 LAN が有効に設定されていた場合は無効に、無効に設定されていた場合は有効に切り替わります。



10 秒経過する前に（Go ボタン）から指を離すと、再印刷モードに切り替わります。

5. **LAN 設定内容リストの「Node Type」欄の「IEEE802.11b/g」で無線 LAN の有効または無効を確認できます。**

   有効の場合は“Active”、無効の場合は“Inactive”と記載されています。



**無線 LAN を有効または無効にするその他の方法**
- BRAdmin Professional（Windows® のみ）P.8-5 を使用できます。
- ウェブブラウザを使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.2-11 を参照してください。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# 無線 LAN の設定のトラブルシューティング

## ブラザーインストーラを使用して無線 LAN 設定をするときに、本製品が見つからない

1 本製品の電源スイッチが ON で、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

2 本製品と無線 LAN アクセスポイントを 1m 以内に移動し、再度試してください。

3 それでも本製品が見つからない場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし P.2-4 、最初から設定をやり直してください。

## 無線 LAN の設定をしようとしているのに、なぜ途中で本製品のネットワーク設定を「有線 LAN」に変更するのですか？

ご使用のパソコンが Windows® 2000、Mac OS® X 10.2.4 以降の場合、またはパソコンがネットワークケーブルを使用して無線 LAN に接続されている場合は、一時的にネットワークケーブルで無線 LAN アクセスポイントに接続して設定することを奨励しています。その場合、パソコンの設定を一時的に有線 LAN に変更する必要があります。

ネットワークの設定は、設定の過程で自動的に無線 LAN の設定に変更されます。

## Windows® の場合

「インフラストラクチャモードでの無線 LAN 設定」P.3-12

「簡単設定での無線 LAN 設定」P.3-52

「アドホックモードでの無線 LAN 設定」P.3-22

## Macintosh® の場合

「インフラストラクチャモードでの無線 LAN 設定」P.3-32

「簡単設定での無線 LAN 設定」P.3-52

「アドホックモードでの無線 LAN 設定」P.3-41

# 無線 LAN の接続のトラブルシューティング

## 無線 LAN が時々つながらなくなる

無線 LAN 接続の状態は、本製品とその他の無線 LAN 機器の配置関係によって影響を受けます。

次のような条件によって、接続の問題が生じる場合があります。

- 本製品と無線 LAN アクセスポイントとの間に、コンクリートや金属構造の壁が設置されている。
- 無線 LAN の近くに、テレビ、コンピュータ制御の電化製品、電子レンジ、インターカム、携帯電話、バッテリー充電器、AC 電源アダプターなどの電化製品が設置されている。
- 近くに、放送局や高圧線がある。
- 蛍光灯のスイッチが入り切りされる状況がある。

# その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 **容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、最新のプリンタドライバがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。**

プリンタの最新ドライバは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(**http://solutions.brother.co.jp/**）からダウンロードできます。

2 **その他、まれに発生する問題の原因は、「プロトコル固有の問題」**P.7-6 **を参照してください。**

# 第 8 章

# 付録

# ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する

## 概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

### ● IP アドレスの設定



**IP アドレスの自動設定機能（APIPA）**
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバがない環境では、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のお買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 です。お買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- DHCP を使用して自動的に設定する P.8-3
- APIPA を使用して自動的に設定する P.8-3
- RARP （rarp）を使用する P.8-3
- BOOTP を使用する P.8-4
- 手動で IP アドレスを設定する：
  BRAdmin Light（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®、および Mac OS® X 10.2.4 以降）P.2-6
  BRAdmin Professional（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®）P.8-6

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# IP アドレスの設定方法

## 手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Light / BRAdmin Professional

BRAdmin Light は Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®、および Mac OS® X 10.2.4 以降、BRAdmin Professional は Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、Windows Vista® で使用できるソフトウェアです。
TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます（BRAdmin Professional のみ）。

BRAdmin Light および BRAdmin Professional では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品のお買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時は、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する」P.2-6 または「BRAdmin Professional で管理する」P.8-5 を参照してください。

## DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

## APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは
0．0．0．0 に自動的に設定します。
お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

## RARP を使用して IP アドレスを設定する

UNIX ホストコンピュータで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品のプリントサーバの IP アドレスを設定することができます。
以下のエントリ例と同じような行を追加入力して、/etc/ethers ファイルを編集してください（ファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成します）。

例）**00:80:77:31:01:07 BRN008077310107**

**00:80:77:31:01:07** は本製品の MAC アドレス、**BRN008077310107** は本製品のノード名です。

お使いのプリンタの設定のものを入力してください。（ノード名は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません）。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行します。
使用環境により、コマンドは rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a などになります。詳細情報については、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIX ベース環境で rarp デーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

**ps -ax | grep -v grep | grep rarpd**

AT&T UNIX ベース環境では、以下のコマンドを入力してください。

**ps -ef | grep -v grep | grep rarpd**

本製品の電源スイッチを ON にすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

## BOOTP を使用する

BOOTP は、RARP 設定に必要です。
BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを以下に示します。

**#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i**




**システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。**

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルを参照してください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、以下に示します。

**BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3**
および
**BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:**
**ip=192.189.207.3:**

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本製品の電源スイッチを ON にすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

# BRAdmin Professional で管理する

## BRAdmin Professional をインストールする

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。

**1 BRAdmin Professional をサポートサイト(ブラザーソリューションセンター)(http://solutions.brother.co.jp/)からダウンロードします。**

**2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。**

**3 画面の指示にしたがってインストールします。**



- Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール（Windows® ファイアウォール)」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。(Windows® XP Service Pack 2 をお使いのお客様は、BRAdmin Professional のインストール時に、Windows® ファイアウォールの例外として BRAdmin Professional を追加すれば、Windows® ファイアウォール機能を無効にする必要はありません。)
詳しい設定方法については「Windows® XP Service Pack2 の場合」P.7-10 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Professional の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

# ネットワークの設定をする

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



**ゲートウェイの設定**
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- IP アドレス配布サーバを利用している場合
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。
- IP アドレス配布サーバを利用していない場合
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。



**お買い上げ時の IP アドレス**
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。
• IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「プリンタ設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

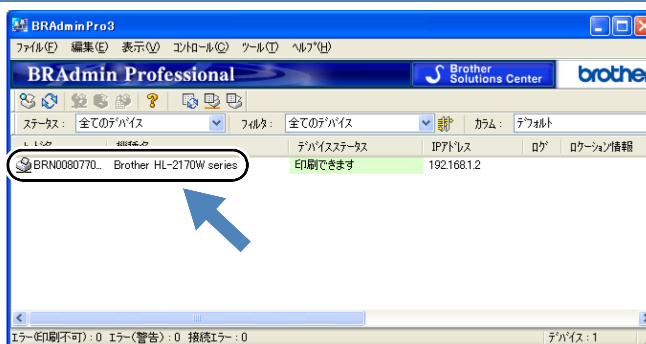


**ノード名**
プリンタ設定一覧にはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

## 1 本製品とパソコンをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動します。

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother Administrator Utilities］－［Brother BRAdmin Professional 3］－［BRAdmin Professional 3］の順にクリックします。

## 2 本製品を選択します。




## 3 ［コントロール］メニューから［デバイスの設定］をクリックします。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 4 「パスワード」を入力します。




お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

## 5 本製品の設定が変更できます。




- DHCP/BOOTP/RARP サーバを使用せずに、お買い上げ時の設定のまま本製品を使用している場合は、APIPA 機能によって IP アドレスが自動的に割り当てられ、BRAdmin Professional に表示されます。
- 「プリンタ設定一覧」を印刷し、現在設定されているノード名や MAC アドレス（イーサネットアドレス）を調べることができます。「プリンタ設定一覧」の印刷方法は、「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

# オートマチックドライバインストーラを使う（Windows® のみ）

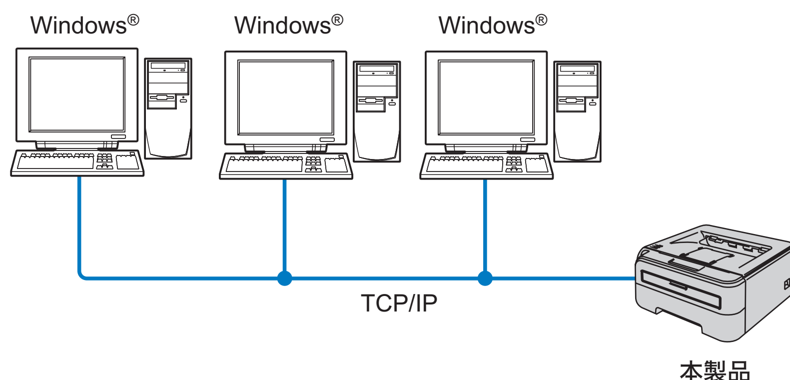
プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、オペレーティングシステム（OS）ごとの作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

## オートマチックドライバインストーラが対応するプリンタの接続方法

オートマチックドライバインストーラが対応するプリンタの接続方法は、次の 3 種類です。

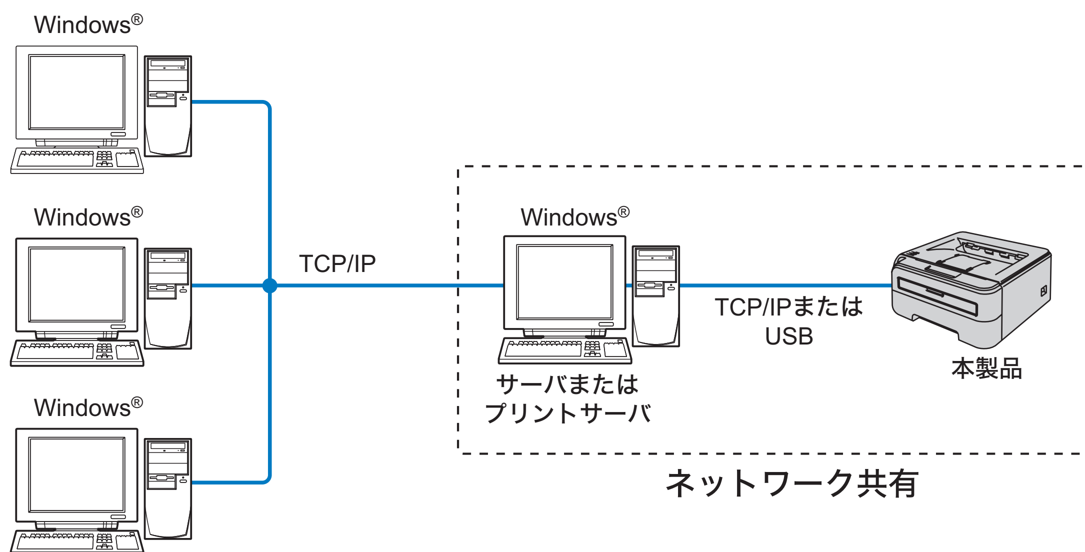
### ピアツーピア接続

プリンタはネットワークに接続されていますが、印刷データの管理などは行わず、直接プリンタに印刷します。




### ネットワーク共有

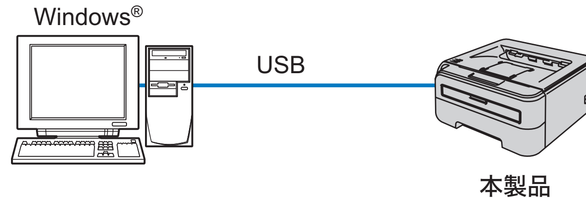
プリンタはネットワークに接続され、サーバまたはプリントサーバが印刷データの管理などを行い、プリンタに印刷します。




はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

### ローカルプリンタ（USB）

プリンタとパソコンを USB ケーブルを使用して接続します。




## オートマチックドライバインストーラをインストールする

1 **パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

2 **本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

3 **［HL-2170W］をクリックします。**

4 **［その他のインストール］をクリックします。**

5 **［オートマチックドライバインストーラ］をクリックします。**




Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［続行］をクリックします。

6 **オートマチックドライバインストーラのセットアップ画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

7 **使用許諾契約の内容よくお読みになり、画面の指示に従ってください。**

8 **［完了］をクリックします。**

これでインストールは完了しました。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# オートマチックドライバインストーラを使用する

**1** **「オートマチックドライバインストーラ」を起動すると、「オートマチックドライバインストーラへようこそ」画面が表示されます。[次へ] をクリックします。**

**2** **「プリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。**

**3** **プリンタの接続方法を選択し、[次へ] をクリックします。**

**4** **必要な項目を選択し、画面上の指示に従います。**

手順 3 で「ブラザーピアツーピアネットワークプリンタ」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

- IP アドレスの設定

  プリンタに IP アドレスがない場合は、リストからプリンタを選択し、[IP の設定] をクリックし、IP アドレスを変更できます。

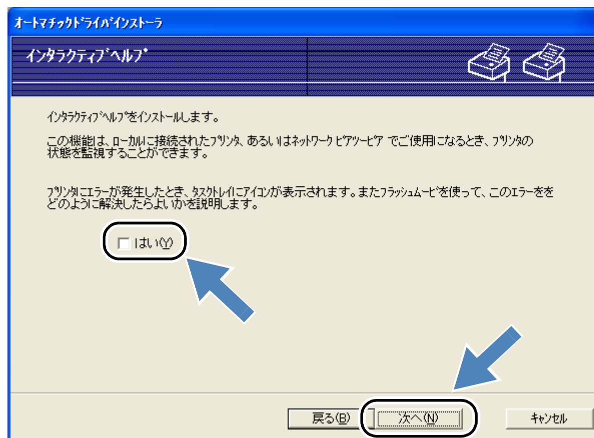
  表示された「IP アドレス設定」画面で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの情報を設定することができます。

**5** **プリンタのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。**

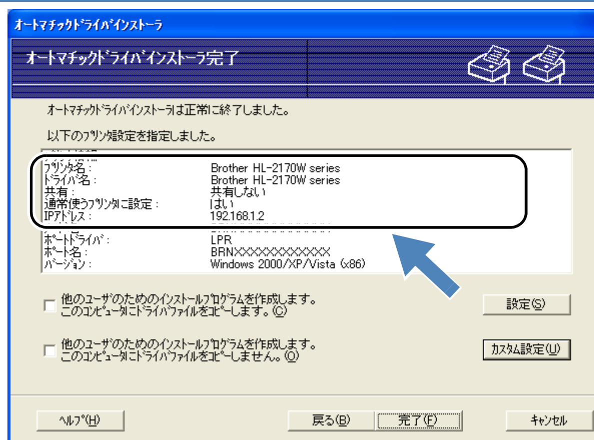
使用したいプリンタドライバがパソコンにインストールされていない場合は、[ディスク使用] をクリックし、プリンタドライバのファイルの場所を指定します。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## 6 インタラクティブヘルプをインストールする場合は、「はい」をチェックし、[次へ] をクリックします。



## 7 プリンタ設定詳細画面が表示されたら、ドライバの設定内容を確認してください。



### 実行ファイルの作成

オートマチックドライバインストーラを使って、自動実行 .EXE ファイルを作成することもできます。自動実行 .EXE ファイルは、ネットワークに保存したり、CD-ROM や USB メモリーにコピーしたり、他のユーザーに E メールで送信することもできます。
実行後は、ドライバとその設定が自動的にインストールされます。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」
  ご使用のパソコンにドライバをインストールし、ご使用のパソコンと同じオペレーティングシステム（OS）の他のパソコンで実行する自動実行 .EXE ファイルを作成する場合に選択します。
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」
  ご使用のパソコンにドライバが既にインストールされているため、ドライバを再度インストールせず、ご使用のパソコンと同じオペレーティングシステム（OS）の他のパソコンで実行する自動実行 .EXE ファイルのみを作成する場合に選択します。



- 「キュー」に基づくネットワークで作業しており、実行ファイルに設定するものと同じプリンタキューにアクセスできない他のユーザーのための実行ファイルを作成する場合は、ドライバを遠隔パソコンにインストールしたときに、LPT1 印刷に初期設定されます。
- 手順 5 で「インストールされているドライバを使用する」にチェックを入れた場合は、[カスタム設定] をクリックして、用紙サイズなどプリンタドライバの初期設定を変更することができます。

## 8 [完了] をクリックします。

ご使用のパソコンにプリンタドライバがインストールされます。



はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

# プリントサーバのファームウェアのアップデート

## 概要

本製品のプリントサーバのファームウェアは、フラッシュメモリーに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイルを入手する場合は、以下のホームページを参照してください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）



用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能を本製品に追加するために、本製品の設定が自動的にお買い上げ時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前にプリンタ設定一覧を印刷し、本製品の現在の設定を必ず記録に残しておいてください。「プリンタ設定一覧を印刷する」P.2-5 を参照してください。

## ファームウェアのアップデート方法

### BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、プリントサーバのファームウェアを簡単にアップデートできます。
BRAdmin Professional のインストールについては「BRAdmin Professional をインストールする」P.8-5 を参照してください。

**1 BRAdmin Professional を起動します。**

**2 本製品を選択します。**

**3 ［コントロール］メニューの［ファームウェアロード］を選択します。**

複数のネットワークインターフェースを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークインターフェースを選択します。

**4 次の方法で、新しいファームウェアアップデートファイルを本製品に送ります。**

このとき、本製品のパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは “access” です。

- TFTP PUT（ホストから）

1. 「TFTP PUT」を選択し、［OK］をクリックします。
2. 本製品のパスワードとファームウェアファイル名を指定して［ロード］をクリックします。
   BRAdmin Professional は TFTP プロトコルを使用して本製品のファームウェアをアップデートします。

## プリントサーバのファームウェアのアップデート時の注意

プログラムが終了すると自動的に本製品が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に本製品の電源スイッチを OFF にしないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度本製品の電源スイッチを OFF → ON し、ダウンロードを実行します。

# その他のプリンタドライバのインストール方法

## Web Servicesを使用する（Windows Vista®のみ）

Windows Vista® の場合は、Web Services を利用してプリンタドライバをインストールすることができます。



"ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか"、または"ルータが 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか"のどちらかを確認してください。

**1** **[スタート] メニューから [ネットワーク] をクリックします。**

**2** **本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されますので、右クリックして [インストール] をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



本製品の Web Services 名は、モデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。
例）Brother HL-XXXX series ［XXXXXXXXXXXX］

**3** **管理者権限のあるユーザー場合は、[続行] をクリックします。**
**管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

**4** **「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」を選択します。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

**5** **管理者権限のあるユーザー場合は、[続行] をクリックします。**
**管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

**6** **「オンラインで検索しません」を選択します。**

**7** **本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

**8** **「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」を選択します。**

**9** **CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタドライバの保存フォルダを選択し、[OK] をクリックします。**

X:install￥jpn￥PCL￥win2kxpvista
（X は CD-ROM ドライブ）

**10** **[次へ] をクリックします。**

インストールが開始されます。

# ネットワークプリンタキューと共有を使用する



- ネットワークに共有プリンタとして接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、キューと共有名を確認してください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

**1 パソコンの電源スイッチを ON にします。**

管理者権限をもつユーザでログオンします。

**2 本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

オープニング画面が表示されます。

**3 ［HL-2170W］をクリックします。**

**4 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。**

**5 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。**



Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［許可］をクリックします。

**6 プリンタドライバのインストールが開始され、使用許諾契約画面が表示されます。使用許諾契約の内容をよくお読みなり、［はい］をクリックします。**

**7 「ネットワーク共有プリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。**

**8 本製品のキューを選択し、［OK］をクリックします。**



本製品のネットワーク上の位置や名前が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

**9 ［完了］をクリックします。**



- 本製品をオンラインでユーザー登録する場合は、「オンラインユーザ登録」チェックボックスをチェックしてください。
- 本製品を通常使用するプリンタに設定しない場合は、「通常使うプリンタに設定」チェックボックスのチェックを外します。

**OK! 以上でプリンタドライバのインストールは完了です。**

# 仕様

## プリントサーバ

### 有線 LAN

| 項目 | 内容 | |
|---|---|---|
| ネットワークノードタイプ | NC-6600h | |
| 対応オペレーティングシステム（OS） | Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、Windows Server ®2003/Windows Server® 2003 x64 Edition<br>Mac OS® X 10.2.4 以降 | |
| プロトコル | TCP/IP：IPv4 | ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP, FTP Server, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMP, LLTD responder, LLMNR responder, Web Services |
| | TCP/IP：IPv6 ※1 | NDP, RA, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP, FTP Server, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMPv6, LLTD responder, LLMNR responder, Web Services |
| ネットワークタイプ | 10/100BASE-TX イーサネットネットワーク | |
| ネットワーク印刷 | Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、<br>Windows Vista® TCP/IP 印刷<br>Mac OS® X 10.2.4 以降 Macintosh® 印刷 | |

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）を参照してください。

## 無線 LAN

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>ネットワークノードタイプ</td><td colspan="2">NC-7400w</td></tr>
<tr><td>対応オペレーティングシステム（OS）</td><td colspan="2">Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、Windows Server® 2003/Windows Server® 2003 x64 Edition<br>Mac OS® X 10.2.4 以降</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロトコル</td><td>TCP/IP：IPv4</td><td>ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP, FTP Server, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMP, LLTD responder, LLMNR responder, Web Services</td></tr>
<tr><td>TCP/IP：IPv6 ※ 1</td><td>NDP, RA, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP, FTP Server, POP before SMTP, SMTP-AUTH, TELNET, SNMPv1, HTTP server, TFTP client and server, SMTP Client, APOP, ICMPv6, LLTD responder, LLMNR responder, Web Services</td></tr>
<tr><td>ネットワークタイプ</td><td colspan="2">IEEE 802.11b/g ワイヤレス</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="2">2412 ～ 2472 MHz</td></tr>
<tr><td>RF チャンネル</td><td colspan="2">802.11b (1-14), 802.11g (1-13)</td></tr>
<tr><td>接続モード</td><td colspan="2">インフラストラクチャモード , アドホックモード (802.11b のみ )</td></tr>
<tr><td rowspan="2">データ転送速度</td><td>802.11b</td><td>11/5.5/2/1 Mbps</td></tr>
<tr><td>802.11g</td><td>54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps</td></tr>
<tr><td>最大到達距離</td><td colspan="2">70m（最も低いデータ転送速度）（数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）</td></tr>
<tr><td>ネットワークのセキュリティ</td><td colspan="2">SSID/ESSID, 128 (104) / 64 (40) bit WEP, WPA/WPA2-PSK (TKIP/ AES), LEAP (CKIP)</td></tr>
<tr><td>ネットワーク印刷</td><td colspan="2">Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003、<br>Windows Vista® TCP/IP 印刷、<br>Mac OS® X 10.2.4 以降 Macintosh® 印刷</td></tr>
</table>

※ 1 IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）を参照してください。

# 動作環境

| オペレーティングシステム（OS） | | 必須 CPU 速度 | 必須メモリー | 推奨メモリー | 必要ディスク容量 |
|---|---|---|---|---|---|
| Windows® | Windows® 2000 Professional | Intel® Pentium® II 同等 | 64 MB | 256 MB | 50 MB |
| | Windows® XP Home Edition | | 128 MB | | |
| | Windows® XP Professional | | | | |
| | Windows® XP Professional x64 Edition | 64 ビット対応 CPU<br>（Intel® 64/AMD64） | 256 MB | 512 MB | |
| | Windows Vista® | Intel® Pentium® 4 同等 /<br>64 ビット対応 CPU<br>（Intel® 64/AMD64） | 512 MB | 1 GB | |
| | Windows Server® 2003 | Intel® Pentium® III 同等 | 256 MB | 512 MB | |
| | Windows Server® 2003 x64 Edition | 64 ビット対応 CPU<br>（Intel® 64/AMD64） | | | |
| Macintosh® ※2 | Mac OS® X 10.2.4 - 10.4.3 | PowerPC G4/G5、<br>PowerPC G3 350MHz | 128 MB | 256 MB | 80 MB |
| | Mac OS® X 10.4.4 以降 | PowerPC G4/G5、<br>Intel® Core™ プロセッサ | 512 MB | 1 GB | |

※ 2　サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

# 管理ユーティリティ

| ユーティリティ | 対応オペレーティングシステム（OS） |
|---|---|
| BRAdmin Light | Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、<br>Windows Server® 2003/Windows Server® 2003 x64 Edition<br>Mac OS® X 10.2.4 以降 |
| BRAdmin Professional ※3 | Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、<br>Windows Server® 2003/Windows Server® 2003 x64 Edition |

※ 3　最新の BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（**http://solutions.brother.co.jp/**）からダウンロードできます。

# 用語集と索引

## 用語集

### ● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話 ( アナログ ) 回線を利用して、数 M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

### ● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 」の範囲からランダムに 1 つ選択します。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

### ● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

### ● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバ側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

### ● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP （BOOTstrap Protocol ）をベースとする上位互換規格です。

BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てられるようになっています。サービスを実行するにはサーバもしくは、その機能を有するルータが必要です。

### ● DNS クライアント

本製品は、ドメインネームシステム（DNS）クライアント機能をサポートします。この機能によりプリントサーバは、サーバ自体の DNS 名で他のデバイスと通信できます。

### ● DNS サーバ

Domain Name System という体系で命名されたホスト名 ( ドメイン名 ) から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

はじめに
ネットワーク設定
無線LAN
ネットワーク印刷
インターネット印刷
セキュリティ
こんなときは
付録

## FTTH
Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバ化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

## IPP
インターネット印刷プロトコル（IPP バージョン 1.0）を使用すると、インターネットを経由してアクセスできるプリンタへ文書を直接送信し、印刷できます。

## ISDN
Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

## LAN
Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

## LLMNR
Link-Local Multicast Name Resolution の略。リンクローカルマルチキャスト名前解決（LLMNR）プロトコルは、ネットワークにドメイン名システム（DNS）がないときに近隣のコンピュータの名前を解決します。LLMNR レスポンダ機能は、Windows Vista® などの LLMNR センダ機能を有するコンピュータを使用する場合に IPv4、IPv6 両方の環境で有効です。

## LLTD
Link Layer Topology Discovery の略。リンク層トポロジー探索（LLTD）プロトコルを用いると、Windows Vista® ネットワーク上で本製品を簡単に検出でき、分かりやすいアイコンとノード名で表示されます。このプロトコルの初期設定はオフです。

## LPR/LPD
TCP/IP ネットワーク上で通常用いられる印刷プロトコルです。

## MAC アドレス（イーサネットアドレス）
OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザが変更することはできません。

## mDNS（multicast DNS）
DNS サーバが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントパソコンがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple® Mac OS® X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

## ping
Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

## RARP
Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

## SMTP クライアント

簡易メール転送プロトコル（SMTP）クライアントは、インターネットまたはイントラネットを経由して E メールを送信するために用いられます。

## SNMP

Simple Network Management Protocol の略。簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）は、TCP/IP ネットワーク内のパソコン、プリンタ、端末を含めたネットワークデバイスの管理に用いられます。

## TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト ( アプリケーション ) を特定して通信路を確立するするプロトコル (TCP) と、通信経路 (IP) から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4 、IP はレイヤー 3 に対応しています。

## WINS

Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です。

## WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

## Web Services

Windows Vista® の場合は、Web Services プロトコルを使用してプリンタドライバをインストールできます。詳細は、「Web Services を使用する（Windows Vista® のみ）」P.8-14 を参照してください。また、Web Services では、ご使用のパソコンから本製品の現在のステータスを確認することができます。

## カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット (1000BASE-T) によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略でより線のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

## ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

## サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

| | |
|---|---|
| クラス A | 255.000.000.000 |
| クラス B | 255.255.000.000 |
| クラス C | 255.255.255.000 |

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

| | |
|---|---|
| クラス A | 010.000.000.000 ～ 010.255.255.255 |
| クラス B | 172.016.000.000 ～ 172.031.255.255 |
| クラス C | 192.168.000.000 ～ 192.168.255.255 |

## スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブを使って相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

## ノード

node 。ネットワークに接続されているパソコンなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

## ポート 9100

LPR/LPD と同様に TCP/IP ネットワーク上で通常用いられる印刷プロトコルです。

## ルータ

ネットワーク間 (LAN と LAN 、LAN と WAN) の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT( アドレス変換 ) の機能があります。

# 索引